

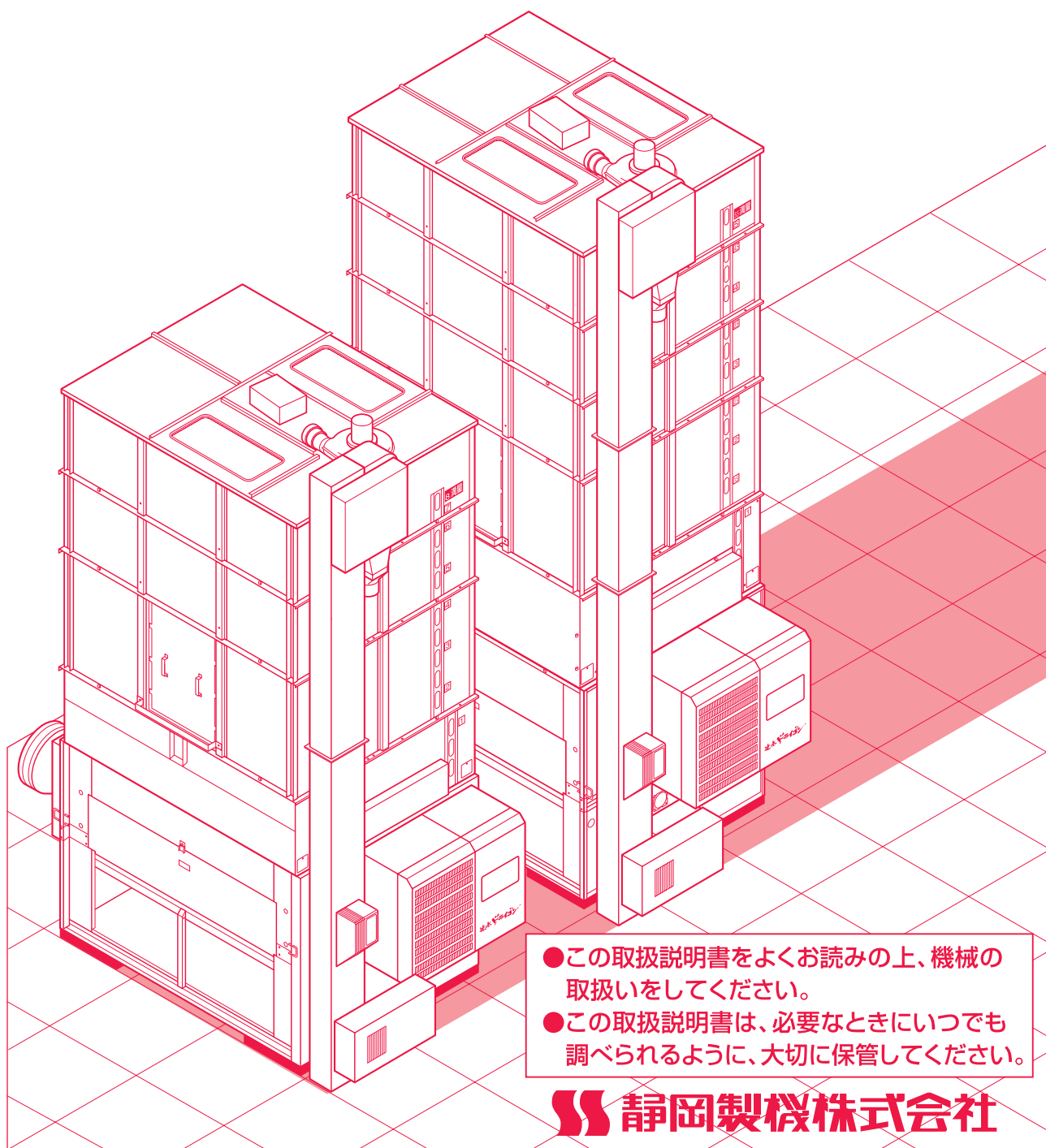
シズオカ 遠赤外線乾燥機

SAC-ED

汎用循環型乾燥機

取扱説明書

SAC-E30D・E35D・E40D / SAC-E45D・E50D・E55D・E60D・E65D



- この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

ご使用の前に

1. この機械を使用する前に、**粳・麦用循環型乾燥機の取扱説明書**をまっ先に十分お読みください。そのうえで、保守・点検を行い、取扱説明書に従い運転操作してください。
2. この取扱説明書に機械の運転操作、保守・点検等で粳・麦と違う内容を記載してあります。同じ運転操作、保守・点検は粳・麦用循環型乾燥機の取扱説明書に従ってください。
3. この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。従って、機械の運転、保守・点検を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
4. 機械の改造はしないでください。修理や交換には必ず正規の部品を使用してください。
5. この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か本社営業本部にお問い合わせください。
6. この取扱説明書を必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
紛失した場合は、購入先へ注文してください。

注 意

安全に関することは、**粳・麦用循環型乾燥機の取扱説明書の「安全について」**を十分にお読みください。

保証の限定

この製品は万全の品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ日より1年間無料で修理いたします。ただし、次のような場合は保証期間中でも有料修理になります。

- (イ) 誤ってご使用になった場合および不当な修理・改装による損傷および故障。
- (ロ) 移転等による輸送上の損傷及び故障。
- (ハ) 火災・地震・風水害などの天災および公害・異常電圧・指定外の使用電源（電圧）や変質灯油、不純灯油のご使用による損傷および故障。
- (ニ) 弊社純正部品以外のご使用による損傷および故障。
- (ホ) 保証書のご提示がない場合。
- (ヘ) 保証書の指定事項の未記入あるいは文字を訂正された場合。

部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は、製造打切り後12年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。


補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

保証書

シズオカ乾燥機保証書			
ご住所	<input type="text"/>	電話()	—
ごフリガナ	-----		
機体番号	<input type="text"/>		
型式名	保証期間	平成	年 月 日
販売店名		1ケ年	
		電話()	—

■本保証書はお買上店なき場合は無効となりますので、必ず捺印していただきます。

Shizuoka Seiki Co., Ltd.



静岡製機株式会社

このたびはシズオカ乾燥機をお買上げくださりありがとうございます。

1. 本機は万全の検査を行い高品質を確保しております。お客様の正常の使用状態で使用中、万一不都合が発生した場合は購入日より満1ケ年間につき無料修理をいたします。

2. 次のような場合には保証期間中でも有料となります。

- (イ) 誤ってご使用になった場合、および不当な修理・改装による損傷及び故障。
- (ロ) 移転等による輸送上の損傷及び故障。
- (ハ) 火災・地震・風水害などの天災及び公害・異常電圧・指定外の使用電源（電圧）や変質灯油、不純灯油のご使用による損傷及び故障。
- (ニ) 弊社純正部品以外のご使用による損傷及び故障。
- (ホ) 保証書のご提示が無い場合。
- (ヘ) 保証書の指定事項の未記入あるいは、文字を訂正された場合。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 ※修理はお買上げ販売店に必ずこの保証書をご提示のうえご依頼ください。
 ※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

目次

ご使用の前に	i
保証の限定	ii
目次	iii
1. まえがき	1-1
2. 機械の仕様、構成	
2.1. 機械の仕様	2-2
2.1.1. 主要諸元 (SAC-E30D~E40D)	2-2
2.1.2. 機械の主要寸法 (SAC-E30D~E40D)	2-3
2.1.3. 主要諸元 (SAC-E45D~E65D)	2-4
2.1.4. 機械の主要寸法 (SAC-E45D~E65D)	2-5
2.2. 機械の構成 (SAC-E30D~E40D)	2-6
2.3. 機械の構成 (SAC-E45D~E65D)	2-7
3. 操作部の説明	
3.1. コントロールボックスの操作パネル	3-2
3.2. 試料採取方法	3-4
3.3. 安全装置とセンサのはたらき	3-5
4. 機械の運転操作	
4.1. 運転前の確認と作業	4-2
4.1.1. 大豆の乾燥をする場合	4-2
4.1.2. そばの乾燥をする場合	4-3
4.2. 張込運転	4-4
4.2.1. 張込の目安	4-4
4.2.2. 張込運転	4-5

4.3. 乾燥運転	4-8
4.3.1. 大豆乾燥の注意点	4-8
4.3.2. 大豆の標準乾燥運転	4-10
4.3.3. 大豆の通風乾燥運転	4-13
4.3.4. 大豆の二段乾燥運転	4-14
4.3.5. 大豆の食味乾燥運転	4-17
4.3.6. 大豆のタイマ乾燥運転	4-19
4.3.7. そばの乾燥運転	4-22
4.4. 排出運転	4-25
5. 粉・麦用乾燥機への変更	
5.1. 粉・麦用乾燥機への変更	5-2
6. 異常・故障の原因とその処置	
6.1. 異常・故障の原因とその処置	6-2
7. 保守部品表	7-1
8. 各部の調整方法	8-1
9. オプション部品	8-1
10. 用語説明	8-1
11. 連絡先	11-1

1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・範囲・構成および使用電源について説明しています。

1.まえがき

1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検およびオプション部品、保守部品の説明が記載されています。

米・麦用循環型乾燥機の取扱説明書と合わせ確認してください。

2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、粉、麦、大豆、そばの乾燥が行えるように設計されています。

粉、麦、大豆、そば以外には使用しないでください。

3.機械の構成

この機械は、本機1台と排風ダクト、排塵筒、はしごで一式になっています。

4.使用電源

この機械の使用電源は三相で、電源電圧が180～220Vの範囲でご使用になります。

また、漏電ブレーカの定格感度電流は**乾燥機1台あたり30mA以上**とし、**高調波(インバータ)対応品**をお使いください。

(古いタイプで**高調波(インバータ)未対応品**の場合、機械が正常でも**漏電ブレーカが誤作動**する場合がありますので、対応品へ交換してください。)

また、発電機にて使用する場合も同様の誤作動のおそれがありますので、高調波(インバータ)対応型の発電機を使用してください。

※現在使用の漏電ブレーカが対応品かどうか不明の場合は、お近くの電気工事店にご相談ください。

2 機械の仕様、構成

この章では機械の主な仕様、構成、
について説明しています。

- 2.1. 機械の仕様
 - 2.1.1. 主要諸元
(SAC-E30D～E40D)
 - 2.1.2. 機械の主要寸法
(SAC-E30D～E40D)
 - 2.1.3. 主要諸元
(SAC-E45D～E65D)
 - 2.1.4. 機械の主要寸法
(SAC-E45D～E65D)
- 2.2. 機械の構成
(SAC-E30D～E40D)
- 2.3. 機械の構成
(SAC-E45D～E65D)

2.機械の仕様、構成

2.1.機械の仕様

2.1.1.主要諸元(SAC-E30D~SAC-E40D)

機械の主な仕様を次に示します。

農業機械公正取引協議会規約に準ずる。

型 式 名	SAC-E30D	SAC-E35D	SAC-E40D		
区 分	汎用乾燥機 SAC-ED				
使 用 対 象	大豆、そば、粉、小麦、大麦、ビール麦				
と 穀物の種類 処 理 量	大 豆(kg)680kg/m ³	1200~3000	1200~3500	1200~4000	
	そ ば(kg)680kg/m ³	600~3000	600~3500	600~4000	
	粉 (kg)560kg/m ³	600~3000	600~3500	600~4000	
	小 麦(kg)680kg/m ³	720~3600	720~4200	720~4800	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	3090			
	全 幅 (mm)	1510			
	全 高 (mm)	3910	4205	4500	
機 体 質 量 (重量) (kg)	890	965	1020		
送 風 機	型 式 名	シズオカ FS-58SB			
	種 類	斜流式(吸引)φ580			
	常 用 回 転 速 度 (r.p.m)	1400/1600/1700 (静か/標準/お急ぎ)			
乾 燥 方 式	遠赤外線放射体 熱風炉内設置形				
バ ー ナ	型 式 名	シズオカ SGB-6.5E			
	種 類	遠赤ガンタイプ			
	点 火 方 式	自動点火(高圧放電)			
	燃 焼 量 (ℓ/時)	0.3~6.5			
使 用 燃 料	JIS 1号灯油				
燃 料 タ ン ク 容 量 (ℓ)	95				
所 要 動 力	定 格 電 圧 (V)	三相200			
	格 出 力	循 環 (kW)	0.06		
		定 送 風 機 (kW)	0.75		
		搬 送 系 (kW)	0.65		
		排 塵 機 (kW)	0.14		
		バ ー ナ (kW)	0.10		
		コ ン ト ロ ー ラ 他 (kW)	0.20		
	排 出 ス ロ ヲ (オ プ シ ョ ン) (kW)	HH-5000SL 0.85			
最 大 同 時 使 用 電 力 (kW)	1.90 (乾燥時)				
性 能	張 込 時 間	大 豆、そ ば (分)	27	32	37
		粉 (分)	18	21	24
		小 麦 (分)	36	42	48
	排 出 時 間	大 豆、そ ば (分)	38	44	50
		粉 (分)	25	30	34
		小 麦 (分)	31	36	41
	毎 時 乾 減 率 (標準乾燥)	大 豆、そ ば (%/時)	0.2~0.4		
		粉 (%/時)	0.6~0.8		
		小 麦 (%/時)	0.6~0.8		
諸 装 置	安 全 装 置	<ul style="list-style-type: none"> ●サーマルリリ ●インバータ ●サーモスタット ●回転センサ ●電流検知器 ●バーナファン圧力スイッチ ●炎センサ ●風圧スイッチ ●循環モータサーモ ●満量センサ ●ヒューズ ●感震器 ●湿度センサ ●欠相逆相検知 			
	運 転 制 御 方 式	マイコンによる水分、乾燥温度など自動制御			
	そ の 他	標 準 装 備 品	●排出自動ダンパ ●側面ホッパ ●単粒水分計 ●排塵機 ●燃料タンク ●側面点検口(ドライゴンドア)		
別 売 部 品		●排出スロワ HH-5000SL ●前張込ホッパ MM-09 ●昇降機ホッパ YY-08 ●昇降機後組付用延長コード EC-A4 ●横送風取付ユニット YT-06 ●排出リモコン RC-01 ●遠隔モニタ EM-01			
安 全 鑑 定 番 号	申請中	申請中	申請中		

2.機械の仕様、構成

●主要諸元の条件

注 意	1.張込時間は籾水分24%、小麦水分30%、夾雑物1%以下のものを最大処理量張込んだ場合の数値です。	3.乾減率は籾では、24%のものを14.5%まで乾燥した場合の数値、小麦では、30%のもの12.5%まで乾燥した場合の数値です。
	2.排出時間は籾水分14.5%、小麦水分12.5%の場合の数値です。	4.電気契約は三相200V2kW以上で行ってください。
		5.180V以下では使用できません。

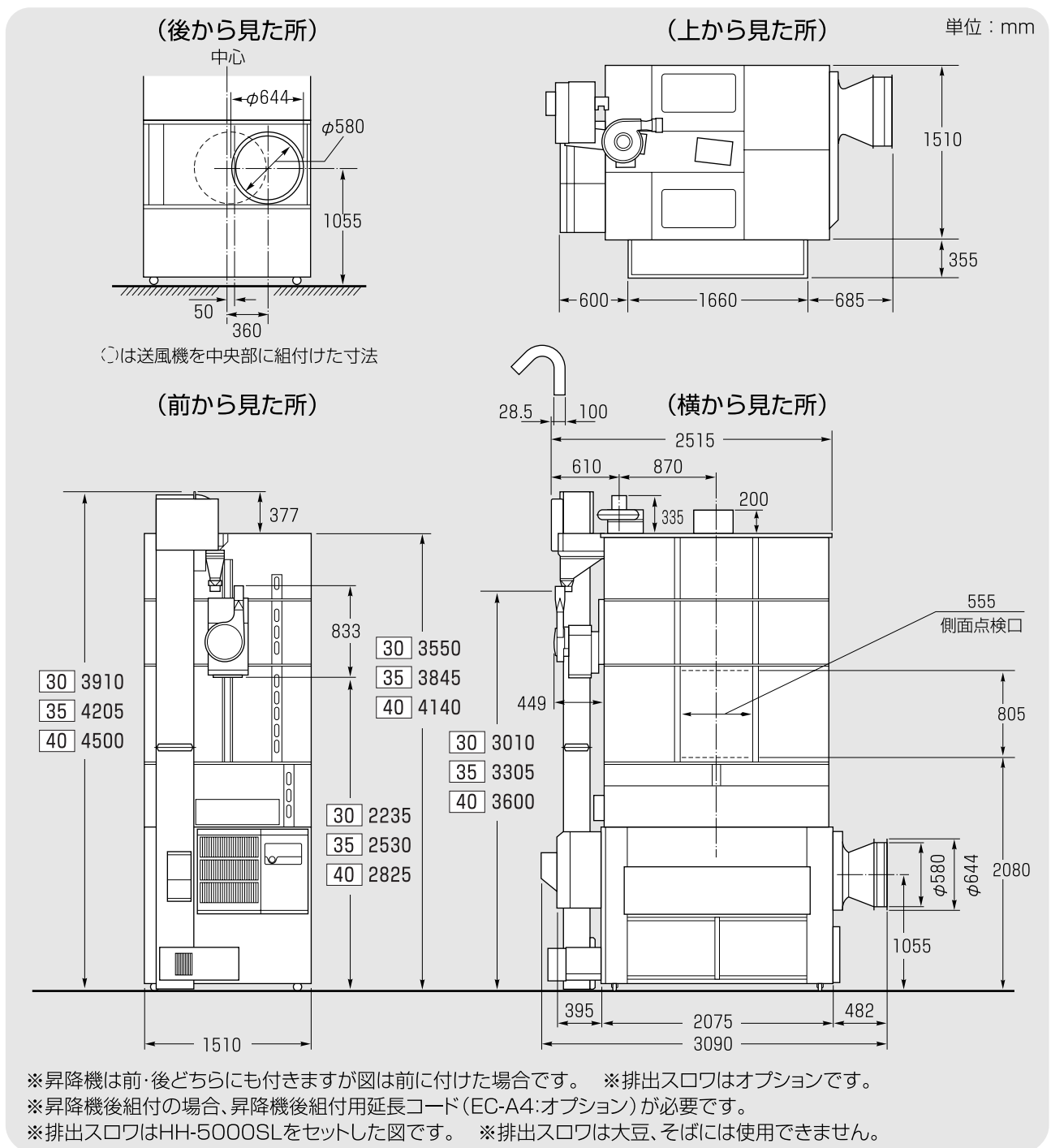
負荷名称	定格(kW)	張込	乾燥	排出
送風機モータ	0.75	△	○	×
搬送モータ	0.65	○	○	○
循環モータ	0.06	▲	○	○
排塵機モータ	0.14	○	○	○
バーナ	0.10	×	○	×
コントローラ	0.20	○	○	○
排出スロワモータ	0.85	×	×	□
合計(kW)		1.05	1.90	1.05 [1.90]

○:運転 ×:停止 △:選択手動運転 □:オプション部品 ▲:間欠運転
注)1.排出スロワはオプションです。

[]内は、排出スロワ使用時の定格です。

2.1.2.機械の主要寸法

機械の主な据付寸法を次に示します。



2.機械の仕様、構成

2.1.3.主要諸元(SAC-E45D～SAC-E65D)

機械の主な仕様を次に示します。

農業機械公正取引協議会規約に準ずる。

型 式 名	SAC-E45D	SAC-E50D	SAC-E55D	SAC-E60D	SAC-E65D		
区 分	汎用乾燥機 SAC-ED						
使 用 対 象	大豆、そば、粉、小麦、大麦、ビール麦						
と 穀物の種類 処 理 量	大 豆(kg)680kg/m ³	1500～4500	1500～5000	1500～5500	1500～6000	1500～6500	
	そ ば(kg)680kg/m ³	800～4500	800～5000	800～5500	800～6000	800～6500	
	粉 (kg)560kg/m ³	800～4500	800～5000	800～5500	800～6000	800～6500	
	小 麦(kg)680kg/m ³	950～5400	950～6000	950～6600	950～7000	950～7800	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	3190					
	全 幅 (mm)	1605					
	全 高 (mm)	4795	5090	5385	5680	5975	
機 体 質 量 (重量) (kg)	1210	1240	1270	1300	1330		
送 風 機	型 式 名	シズオカ FS-63SSA					
	種 類	斜流式(吸引)φ630					
	常用回転速度 (r.p.m)	1300/1450/1550 (静か/標準/お急ぎ)					
乾 燥 方 式	遠赤外線放射体 熱風炉内設置形						
バ ー ナ	型 式 名	シズオカ SGB-9.0E					
	種 類	遠赤ガンタイプ					
	点 火 方 式	自動点火(高圧放電)					
	燃 焼 量 (ℓ/時)	0.3～9.0					
使 用 燃 料	JIS 1号灯油						
燃 料 タ ン ク 容 量 (ℓ)	95						
所 要 動 力	定 格 電 圧 (V)	三相200					
	出 力	循 環 (kW)	0.06				
		定 送 風 機 (kW)	1.5				
		搬 送 系 (kW)	0.85				
		排 塵 機 (kW)	0.14				
		バ ー ナ (kW)	0.15				
		コ ン ト ロ ー ラ 他 (kW)	0.20				
	排 出 ス ロ フ (オ プ シ ョ ン) (kW)	HH-5000SX 1.5					
最 大 同 時 使 用 電 力 (kW)	2.90 (乾燥時)						
性 能	張 込 時 間	大豆、そば (分)	28	32	35	38	41
		粉 (分)	21	23	25	28	30
		小 麦 (分)	43	48	53	58	62
	排 出 時 間	大豆、そば (分)	44	49	54	59	64
		粉 (分)	30	34	37	40	43
		小 麦 (分)	36	40	44	48	52
	毎 時 乾 減 率 (標準乾燥)	大豆、そば (%/時)	0.2～0.4				
		粉 (%/時)	0.6～0.8				
		小 麦 (%/時)	0.6～0.8				
諸 装 置	安 全 装 置	●サーマルリリ ●インバータ ●サーモスタット ●回転センサ ●電流検知器 ●バーナファン圧カスイッチ ●炎センサ ●風圧スイッチ ●循環モーターモ ●満量センサ ●ヒューズ ●感震器 ●湿度センサ ●欠相逆相検知					
	運 転 制 御 方 式	マイコンによる水分、乾燥温度など自動制御					
	そ の 他	標 準 装 備 品	●排出自動ダンパ ●側面ホッパ ●単粒水分計 ●排塵機 ●燃料タンク ●側面点検口(ドライゴンドア)				
別 売 部 品		●排出スロフ HH-5000SL ●前張込ホッパ MM-09 ●昇降機ホッパ YY-08 ●昇降機後組付用 延長コード EC-A4 ●横送風取付ユニット YT-06 ●排出リモコン RC-01 ●遠隔モニタ EM-01					
安 全 鑑 定 番 号	申 請 中	申 請 中	申 請 中	申 請 中	申 請 中		

2.機械の仕様、構成

●主要諸元の条件

注 意	1.張込時間は籾水分24%、小麦水分30%、夾雑物1%以下のものを最大処理量張込んだ場合の数値です。	3.乾減率は籾では、24%のものを14.5%まで乾燥した場合の数値、小麦では、30%のもの12.5%まで乾燥した場合の数値です。
	2.排出時間は籾水分14.5%、小麦水分12.5%の場合の数値です。	4.電気契約は三相200V3kW以上で行ってください。
		5.180V以下では使用できません。

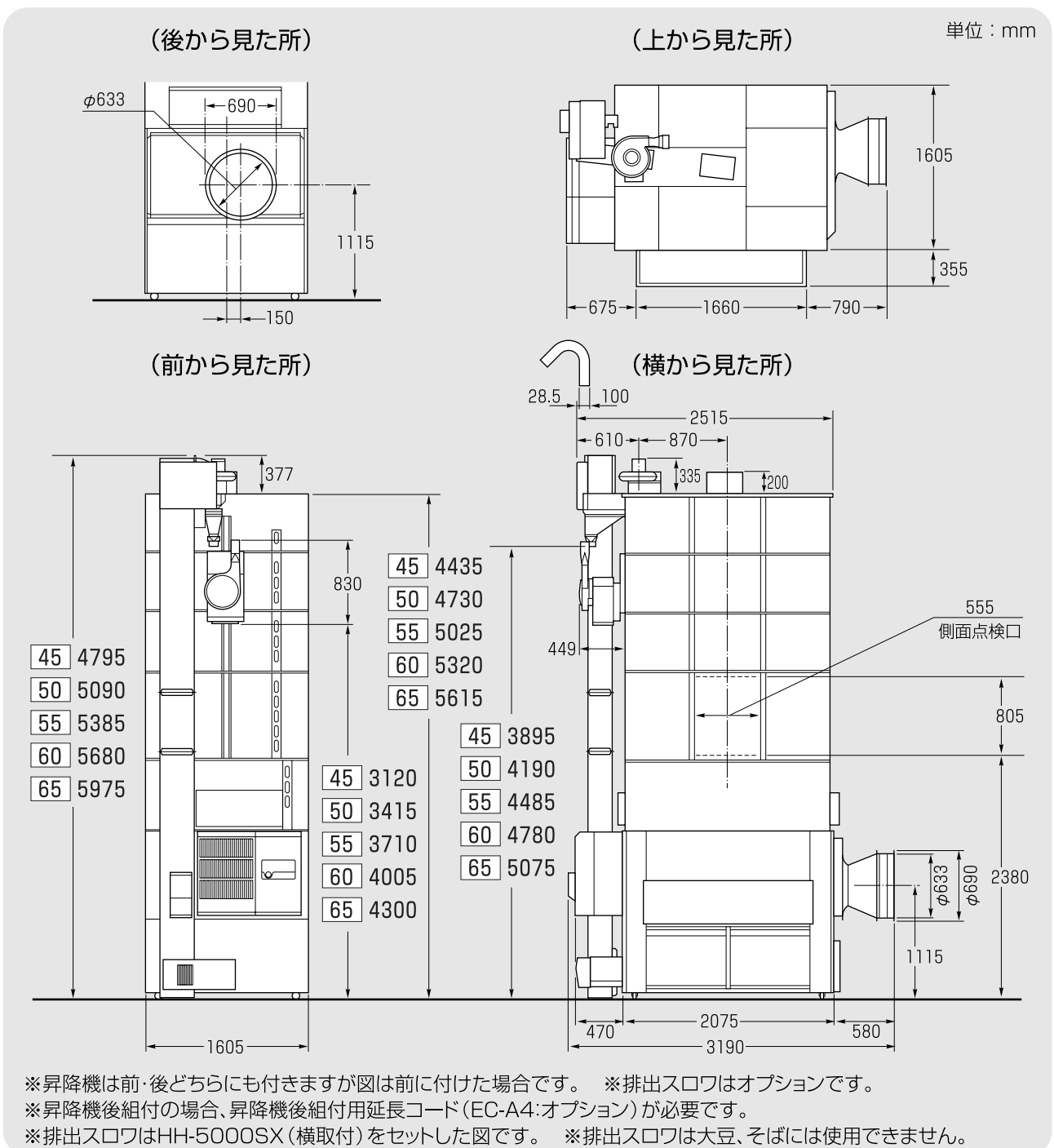
負 荷 名 称	定格(kW)	張込	乾燥	排出
送 風 機 モ ー タ	1.50	△	○	×
搬 送 モ ー タ	0.85	○	○	○
循 環 モ ー タ	0.06	▲	○	○
排 塵 機 モ ー タ	0.14	○	○	○
バ ー ナ	0.15	×	○	×
コ ン ト ロ ー ラ	0.20	○	○	○
排 出 ス ロ ヲ モ ー タ	1.50	×	×	□
合 計 (kW)		2.75	2.90	1.25 [2.75]

○:運転 ×:停止 △:選択手動運転 □:オプション部品 ▲:間欠運転
注)1.排出スロフはオプションです。

[]内は、排出スロフ使用時の定格です。

2.1.4.機械の主要寸法

機械の主な据付寸法を次に示します。



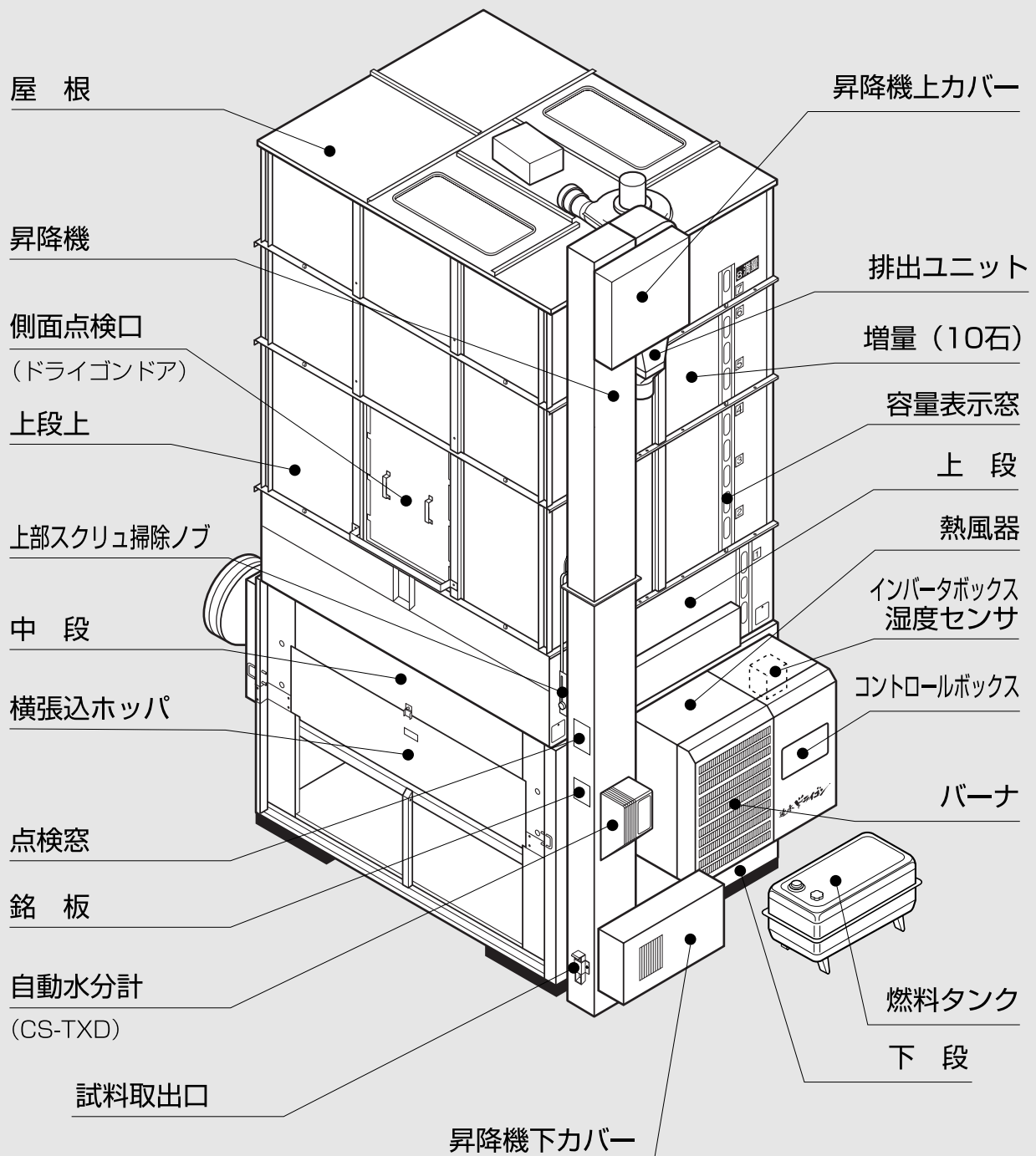
2.機械の仕様、構成

2.2.機械の構成 (SAC-E30D～E40D)

機械の構成を次に示します。

前 面

図はSAC-E40D

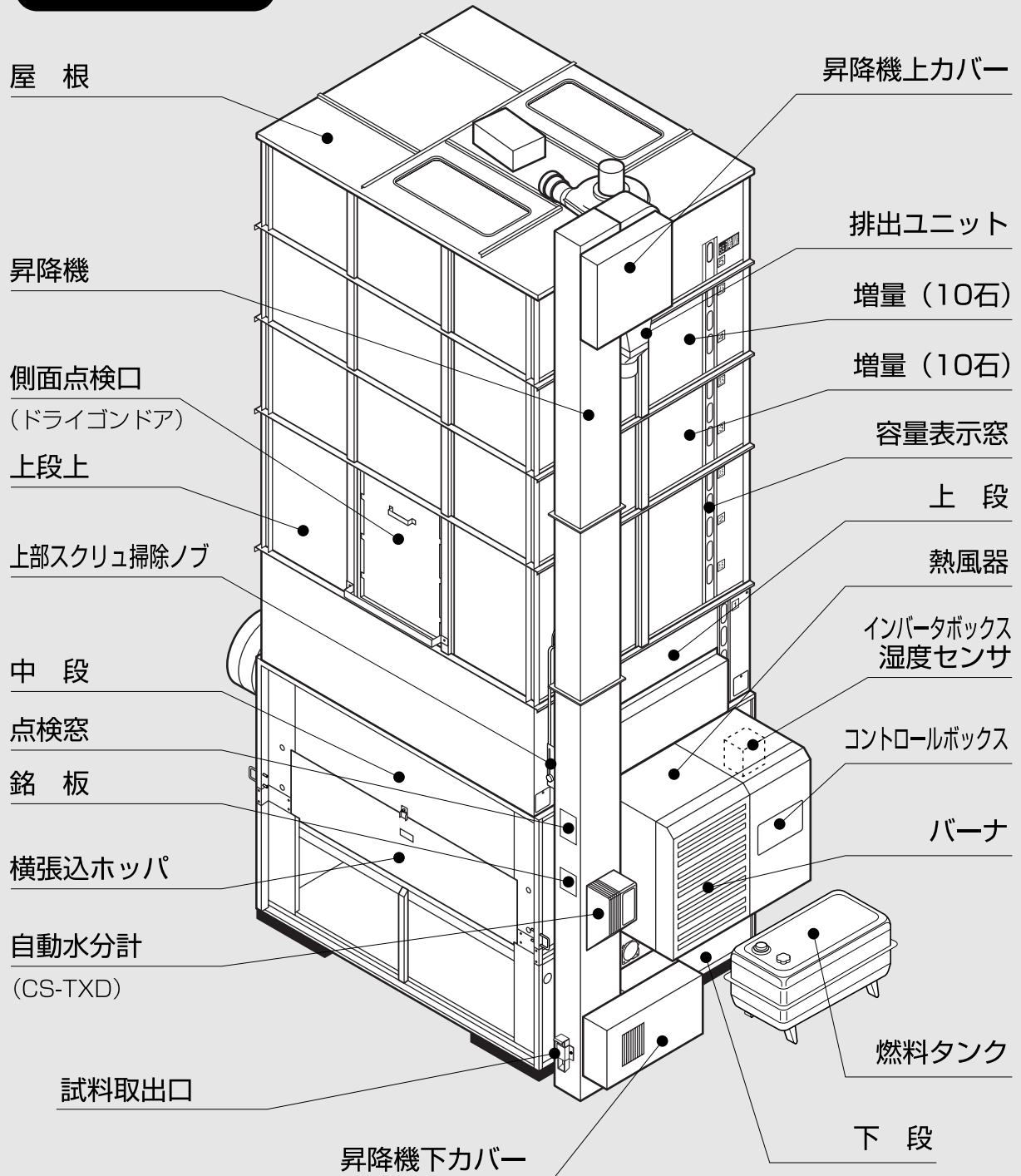


2.3.機械の構成 (SAC-E45D～E65D)

機械の構成を次に示します。

前 面

図はSAC-E55D



3 操作部の説明

この章では、操作部について説明
しています。

3.1.コントロールボックスの操作パネル

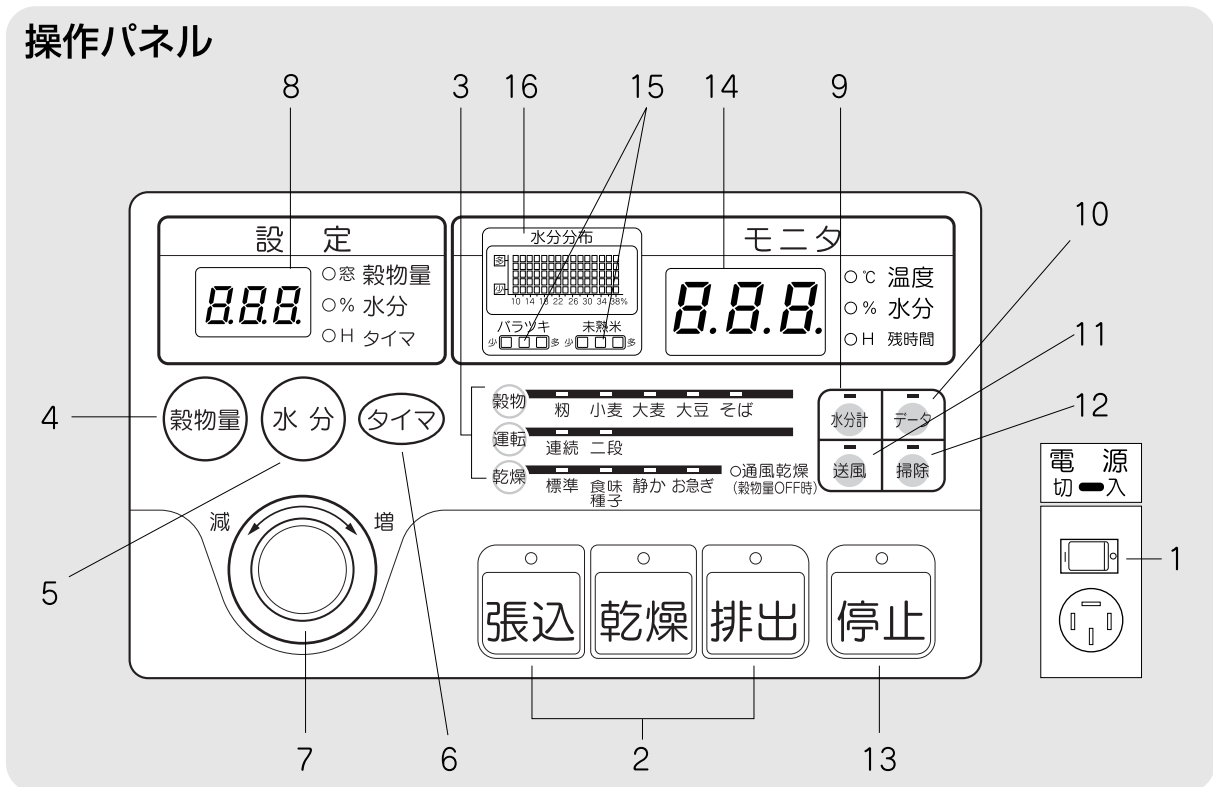
3.2.試料採取方法

3.3.安全装置とセンサのはたらき

3.操作部の説明と安全装置のはたらき

3.1.コントロールボックスの操作パネル

コントロールボックスの操作パネルの各スイッチ、表示器などについて説明します。



1.電源スイッチ

コントロールボックスの操作用電源スイッチです。(熱風器側面にあります。)

2.運転ボタン

張込、乾燥、排出の各作業時に押します。運転ボタンにより表のモータが回転します。

作業	搬送	排塵	循環	送風	水分計	排出スロフ
張込	◎	○	▲	△	○	×
乾燥	◎	○	○	◎	○	×
排出	◎	○	○	×	△	□

◎インバーター制御するモーター、○：運転、×：停止、▲：間欠運転
△：選択(手動)、□：オプション

張込中は、循環モータが間欠運転します。

3.条件選択ボタン

乾燥する穀物の種類や乾燥方法を選びます。

4.穀物量設定ボタン

張込まれた穀物量(窓の数字)に合わせてます。熱風温度が自動設定されます。設定つまみを増方向に回すと、熱風温度が上がり、減方向に回すと熱風温度が下がります。OFF表示は通風乾燥で、通風乾燥ランプが点灯します。

5.水分設定ボタン

希望する仕上り水分値を、10.5~33%の範囲で、0.1%きざみで設定できます。17.0%~33%は0.5%きざみです。OFF表示は水分計を使用しません。

6.タイマ設定ボタン

運転時間を設定します。最大24時間で3時間以内は、0.1時間(6分)単位それ以上は、0.5時間単位で設定できます。OFF表示はタイマを使用しません。

7.設定ツマミ

各設定ボタンを押してから、増、減方向に回して設定を行います。

8.設定表示

穀物量、水分、タイマの設定値を表示します。
水分測定中は測定粒数を表示します。

9.水分計ボタン

現在の穀物水分を測定します。(排出中、停止中のみ)

10.データボタン

乾燥中の各種データを表示します。

- データボタン1回押し
直近の測定水分を表示します。
- データボタン2回押し
データの種類：乾燥NO.
：初期穀物量
：初期水分
：乾燥時間
：停止時設定温度
：停止時水分
- データボタン3回押し
稼動時間を表示します。
- データボタン4回押し
8回分の異常コードを表示します。
- データボタン5回押し
標準の表示に戻ります。

11.送風ボタン

送風機だけ運転したい時あるいは張込中送風機を運転したい時に使用します。

12.掃除ボタン

バルブの下側の残留穀物を排出するボタンです。
押している間だけ運転します。

注 意

機械の中に穀物が入っている時は絶対に操作しないでください。

13.停止ボタン

乾燥機の運転を停止するスイッチです。乾燥運転中(通風乾燥以外)停止ボタンを押すとバーナー冷却の為、送風機を90秒間運転します。冷却中は送風ランプが点滅します。

14.モニタ表示

乾燥運転中の熱風温度、水分、残時間を5秒間ずつ順次表示します。異常が発生した場合の異常コード(エラーコード)も表示します。乾燥運転以外の時は、外気(周囲)温度を表示します。

15.水分バラツキ、未熟米表示

自動水分計で測定した穀物の水分バラツキ、粳玄米の未熟粒割合を、多い、普通、少ないの3段階に表示します。

赤:多い
橙:普通
緑:少ない

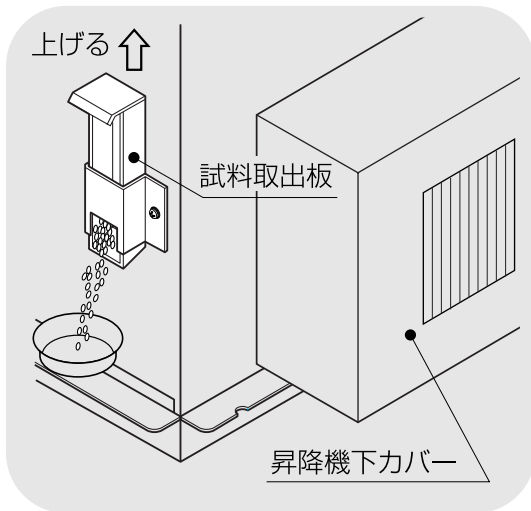
16.水分分布表示

自動水分計で測定した穀物の水分分布をグラフで表示します。

3.操作部の説明

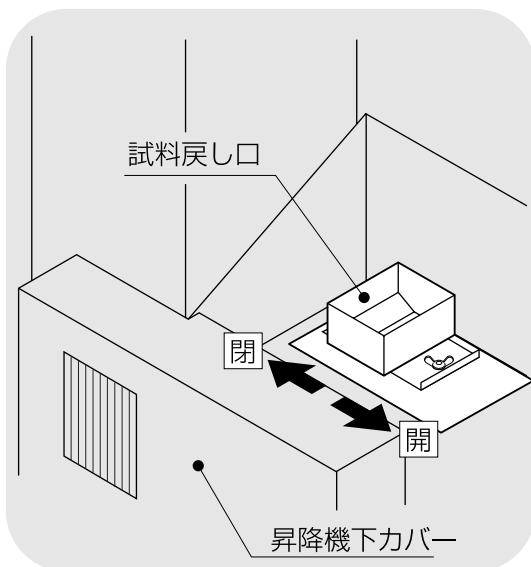
3.2.試料取出方法

試料取出方法について説明します。



① 試料取出方法

試料取出板を持ち上げている間、試料が取り出せます。
試料を取出時以外は、操作しないでください。

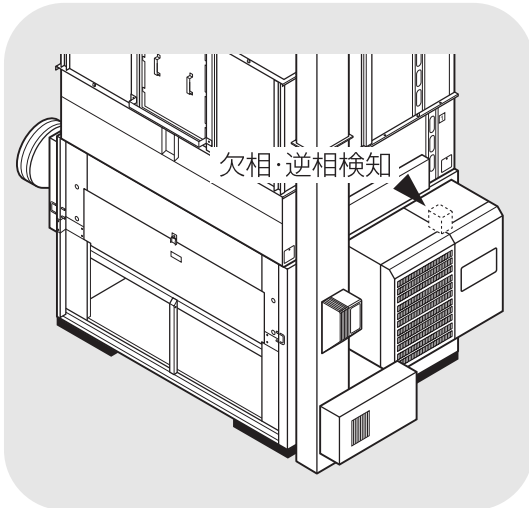


② 試料返却方法

試料を、試料戻し口に投入し、シャッターを開くと、試料が乾燥機内部に戻ります。
試料返却時以外は、シャッターを開けないでください。

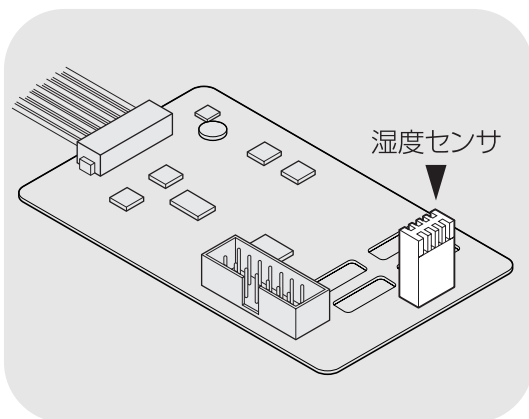
3.3.安全装置とセンサのはたらき

安全装置とセンサの機能について説明します。



① 欠相、逆相検知

- 電源が欠相や逆相の場合、この安全装置が作動し、ブザーと異常コード(E14)で知らせます。
- インバータボックスの内部にあります。



② 湿度センサ

- 外気の湿度を検知し、設定熱風温度を上下させます。
(大豆の『食味・種子』乾燥時、有効になります。)
- インバータボックスの下面にあります。

4 機械の運転操作

この章では、機械の運転前の確認と作業および、張込、乾燥、排出の各運転操作について説明しています。

- 4.1. 運転前の確認と作業
 - 4.1.1. 大豆の乾燥をする場合
 - 4.1.2. そばの乾燥をする場
- 4.2. 張込運転
 - 4.2.1. 張込量の目安
 - 4.2.2. 張込運転
- 4.3. 乾燥運転
 - 4.3.1. 大豆乾燥の注意点
 - 4.3.2. 大豆の標準乾燥運転
 - 4.3.3. 大豆の通風乾燥運転
 - 4.3.4. 大豆の二段乾燥運転
 - 4.3.5. 大豆の食味乾燥運転
 - 4.3.6. 大豆のタイマ乾燥運転
 - 4.3.7. そばの乾燥運転
- 4.4. 排出運転

4.機械の運転操作

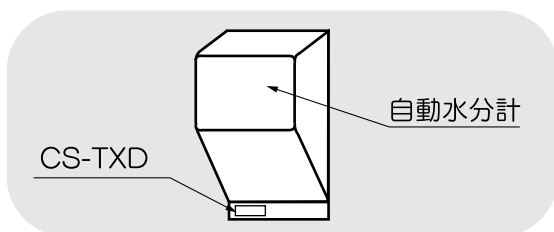
4.1.運転前の確認と作業

機械の運転前には次の確認と作業を行ってください。

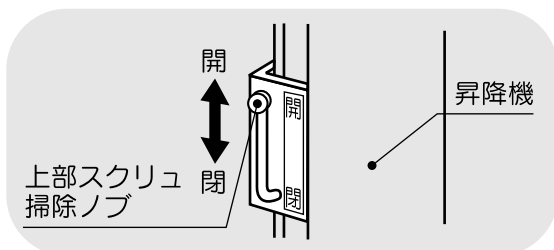


- 高所作業は、必ず購入先に依頼してください。
- はずしたカバー、点検窓は、必ず元どおりに取付けてください。
- ネジがしっかり締付けてあることを確認してください。
- 周囲の安全を確認してから、運転を始めてください。

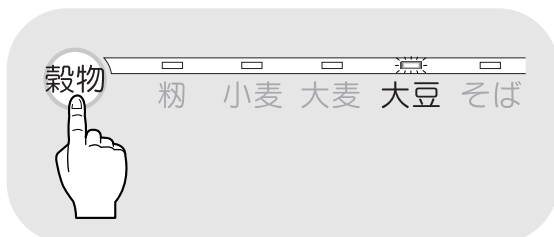
4.1.1. 大豆の乾燥をする場合



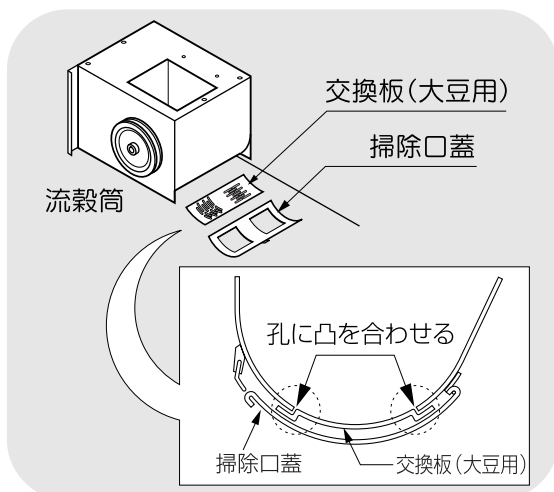
- ① 大豆専用の自動水分計になっていることを確認してください。



- ② 上部スクリュ掃除口を『開』に固定します。



- ③ 操作パネルの穀物選択を『大豆』にセットします。

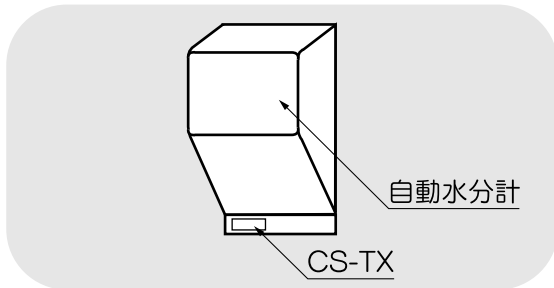


- ④ 流穀筒と掃除口蓋との間に、交換板（大豆用）を、掃除口の孔と凸凹を合わせ、入れてください。

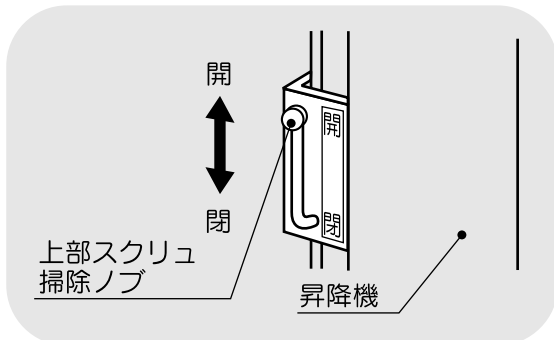
注意

- 上部スクリュ掃除口を『閉』のまま運転すると分散羽根の回転による分散で、大豆が損傷します。

4.1.2. そばの乾燥をする場合



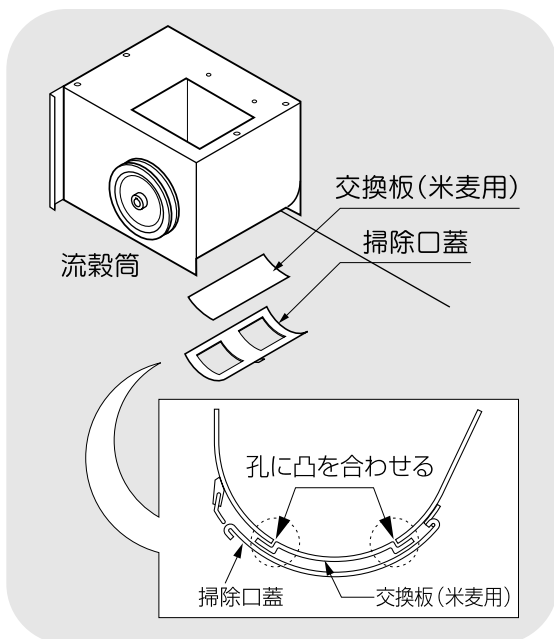
- ① 粉・麦専用の自動水分計になっていることを確認してください。



- ② 上部スクリュ掃除口を『開』に固定します。



- ③ 操作パネルの穀物選択を『そば』にセットします。



- ④ 流穀筒と掃除口蓋との間に、交換板（米麦用、孔無し）を、掃除口の孔と凸凹を合わせ、入れてください。

注意

- 上部スクリュ掃除口を『閉』のまま運転すると、分散羽根の回転による分散で、そばが損傷する場合があります。

4.機械の運転操作

4.2.張込運転

4.2.1. 張込量の目安

注意

●初回の乾燥のときは、最大張込量より少なめに刈り取ってください。

各容量表示窓と張込量の目安は、下記のとおりです。

容量表示窓と張込量の関係(目安)

型 式		窓							
		①	②	③	④	⑤	⑥ 30石満量	⑦ 35石満量	⑧ 40石満量
SAC-E40D	石	9	10	15	20	25	30	35	40
	俵	7	12	18	24	30	36	42	48
SAC-E35D	石	9	10	15	20	25	30	35	
	俵	7	12	18	24	30	36	42	
SAC-E30D	石	9	10	15	20	25	30		
	俵	7	12	18	24	30	36		

型 式		窓											
		①	①.5	②	②.5	③	③.5	④	④.5 45石満量	⑤ 50石満量	⑤.5 55石満量	⑥ 60石満量	⑥.5 65石満量
SAC-E65D	石	9	14	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65
	俵	11	17	24	30	36	42	48	54	60	66	72	78
SAC-E60D	石	9	14	20	25	30	35	40	45	50	55	60	
	俵	11	17	24	30	36	42	48	54	60	66	72	
SAC-E55D	石	9	14	20	25	30	35	40	45	50	55		
	俵	11	17	24	30	36	42	48	54	60	66		
SAC-E50D	石	9	14	20	25	30	35	40	45	50			
	俵	11	17	24	30	36	42	48	54	60			
SAC-E45D	石	9	14	20	25	30	35	40	45				
	俵	11	17	24	30	36	42	48	54				

注意

●大豆やそばの場合は、最少の張込量(②)より少ない張込量で、乾燥運転はしないでください。

4.2.2. 張込運転

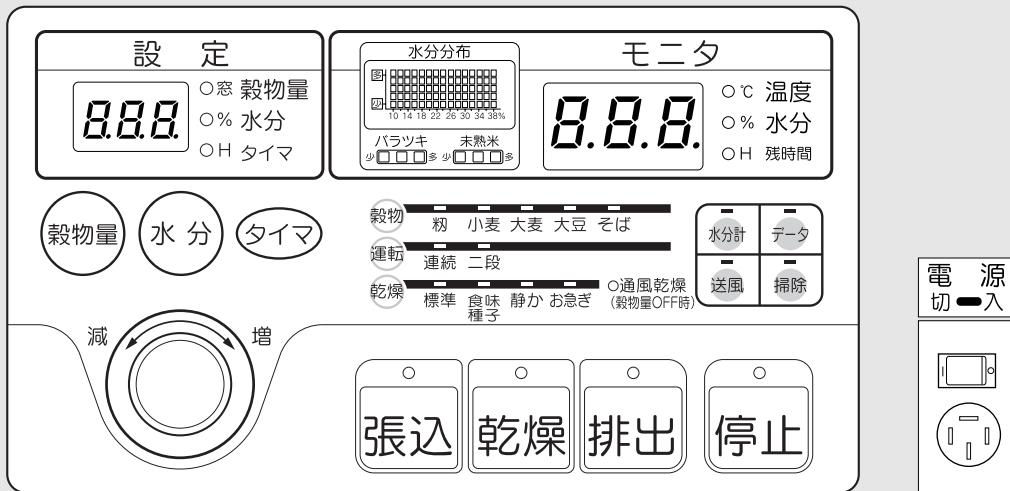
大豆(そば)を張込む場合は、次の運転操作を行ってください。



張込時に張込ホツパに手を入れないでください。

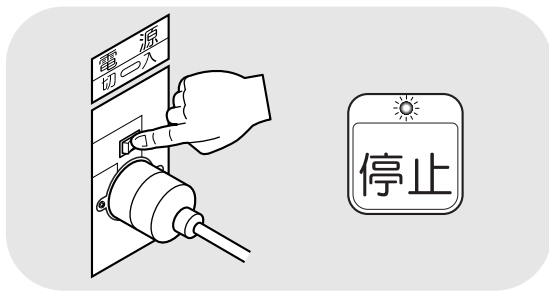


コントロールボックス



- ホツパを閉める場合は、乾燥機を停止させてから閉めてください。
- 乾燥開始後、張込み作業をする場合は、一旦乾燥機を停止させてから『張込』ボタンを押してください。

4.機械の運転操作



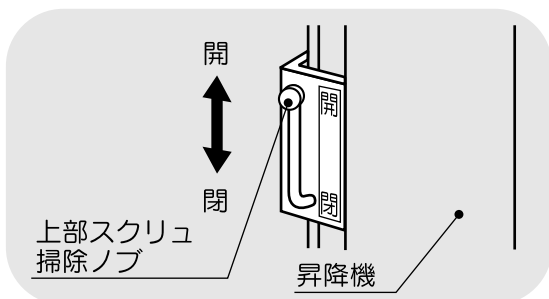
① 電源スイッチ (コントロールボックス) を『入』にします。

● 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。

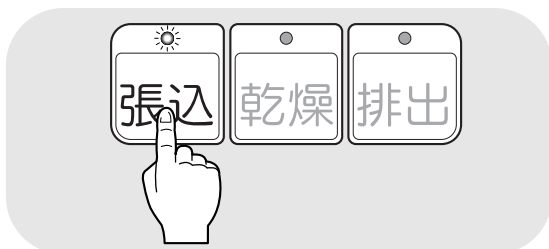


② 穀物選択を『大豆 (そば)』にセットします。

● 選択ボタンを押して、『大豆 (そば)』にランプがつくようにします。

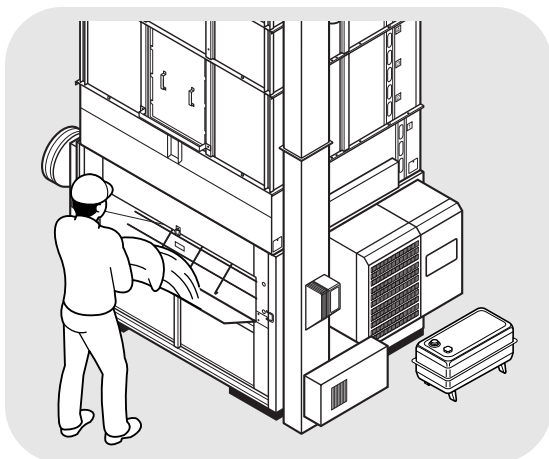


③ 上部スクリュ掃除口を『開』に固定します。



④ 『張込』ボタンを押します。

● 張込ランプが点灯し、警告音が鳴り、機械が運転状態になります。



⑤ 張込ホッパを開けます。

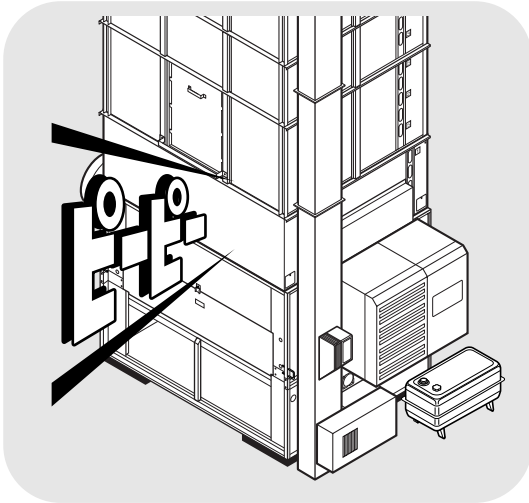
⑥ 大豆 (そば) を張込ホッパから張込みます。

注意

容量表示窓回より少ない張込量で乾燥運転はしないでください。

注意

張込運転中は、ロータリバルブが周期的に回転します。張込ホッパの中へ手を入れしないでください。



⑦ 満量になると、満量センサが作動しブザーで知らせます。

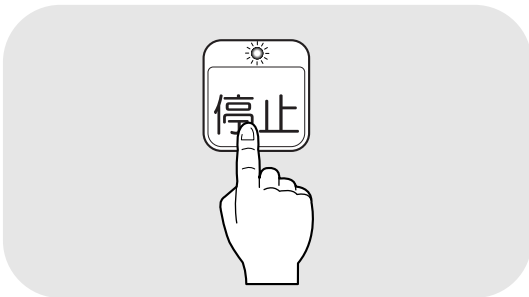
●機械は1分後に停止し、ブザーも1分後に停止します。

その間、張込ホツパに入れ過ぎないように注意してください。

●張込作業を停止します。

●張込ランプは点滅を続けます。

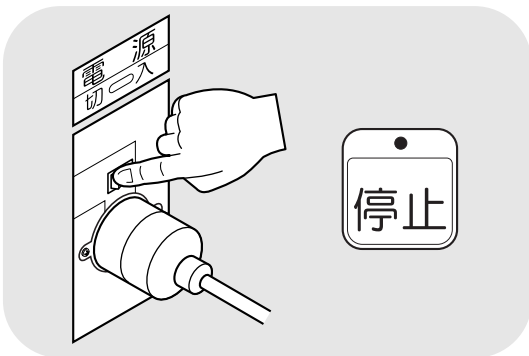
●満量の窓が埋まらなくても、満量センサが作動します。



⑧ 『停止』ボタンを押します。

●停止ランプが点灯します。

●張込ホツパを閉めます。



⑨ 電源スイッチを『切』にします。

●停止ランプとモニタ表示が消えます。

⚠ 注意

刈取り

- 収穫は、高水分(20%以上)をさけ、刈取適期に行なってください。
大豆の水分が高いと、熱風乾燥が出来なくなる場合があります。
- 土や石が、混入しない様に、刈取りを行なってください。
大豆表面が汚れたり、艶が無くなったり傷付く事があります。

張込

- 夾雑物が多い場合は、粗選機等を利用してください。

4.機械の運転操作

4.3. 乾燥運転

危険

- 給油は、必ず運転前に行ってください。
- 給油中は火気を近づけないでください。
- 運転中に給油が必要な場合は、一旦運転を停止してから給油してください。
- 無人運転は避けてください。
- 運転中のバーナは熱いのでさわらないでください。

注意

- 張込ホツパは必ず閉めてください。
- 乾燥する穀物に合った水分計になっているか、確認してください。
- 乾燥中に停止ボタンを押した場合、送風ランプが点滅し、90秒間冷却（送風のみ）をします。この間は他の運転ができません。
- 大豆、そば乾燥の場合は、お急ぎ乾燥を選択できません。

4.3.1. 大豆乾燥の注意点

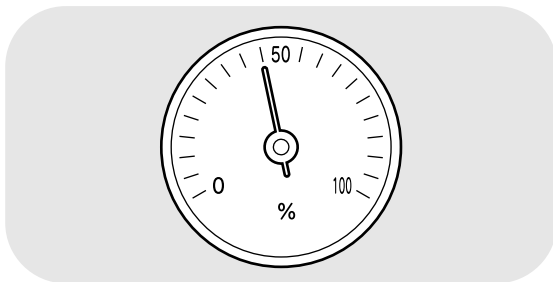
通常乾燥すると、品質を損なう場合がある大豆の乾燥方法について説明します。

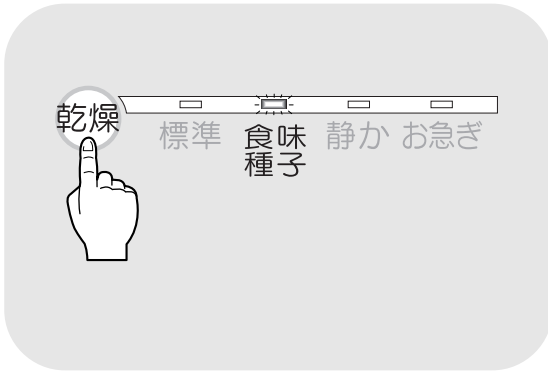
① 乾燥速度が速い場合

- 大豆の乾燥速度は、1時間あたり概ね0.3%前後です。
- 乾燥速度を確認して、熱風温度を決めてください。
- 乾燥速度が速いと、大豆に裂皮が発生する場合があります。

② 外気湿度が低い(50%以下)の場合

- 外気湿度が50%以下の場合、乾燥速度が速くなります。
- 乾燥速度を確認して、乾燥速度が速い場合は、熱風温度を下げてください。
※4-10、4-17参照
- 『食味』乾燥を設定すると、外気湿度を自動的に読み取り、熱風温度を制御します。





③ 20～22%の高水分の大豆

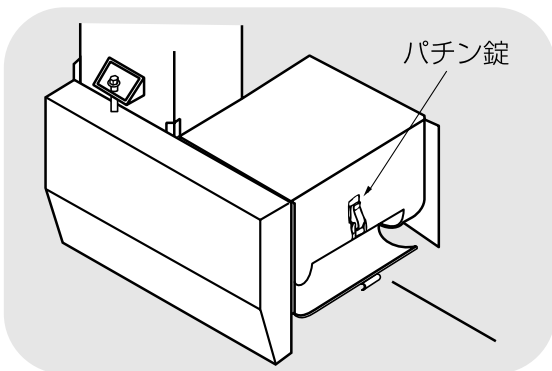
- 長時間通風乾燥すると、大豆の損傷につながる可能性があります。
- 『食味・種子』で運転します。
- 水分が20%以下になったら『標準乾燥』にし、乾燥時間を短くして大豆の損傷を防止します。

④ 13%以下まで乾燥する場合

- 長時間乾燥すると、大豆の損傷につながる可能性があります。大豆の水分が18%以下になってから収穫をしてください。

⑤ 大豆の表皮が薄い品種の場合

- 大豆の表皮が薄い品種は、裂皮が発生しやすくなります。
- この品種の場合は、熱風温度を下げてください。



⑥ 選別網の掃除

- 流穀筒掃除口の選別網は、毎回掃除してください。
- 網に異物が挟まると、選別が悪くなります。

⑦ 安全に関する注意

- 安全に関することは標準の乾燥機の取扱説明書を事前に読んでください。

⚠ 注意

- 初期水分が22%以上の大豆を収穫して乾燥しないでください。
- 大豆にしわが発生したり、乾燥時間が長くなって大豆が損傷する場合があります。
- しわ粒や表皮が浮き上がった大豆は、裂皮が発生する場合があります。

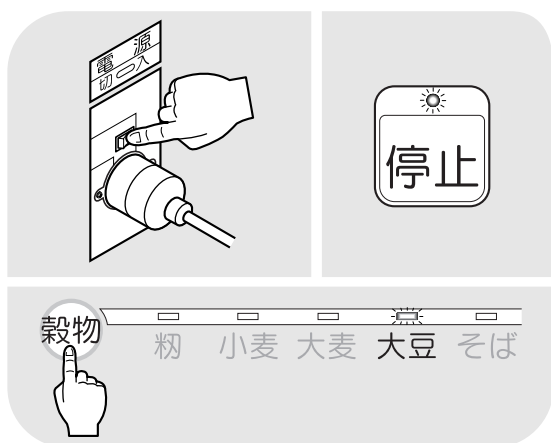
4.機械の運転操作

4.3.2.大豆の標準乾燥運転

水分値に応じて下記のように設定熱風温度を制御します。

水分値	設定熱風温度（外気10℃の時）	
	SAC-E30D～E40D	SAC-E45D～E65D
初回測定中	外気 +8℃～22℃	外気 +10℃～25℃
18%以上	外気 +7℃～14℃	外気 +9℃～19℃
18%未満	外気 +8℃～22℃	外気 +10℃～25℃

大豆の標準乾燥運転の方法を次に示します。



① 電源スイッチを『入』にします。

● 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。

② 穀物選択を『大豆』にセットします。

● 選択ボタンを押して、『大豆』にランプがつくようにします。

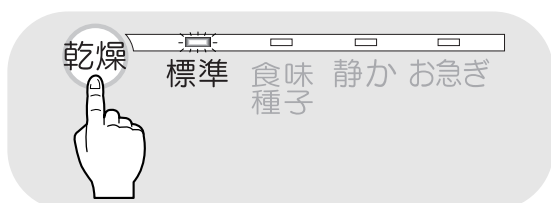
注意

穀物選択は正しくセットしてください。
『大豆』以外にセットすると、まちがった水分値を表示し、設定熱風温度や循環速度も違い大豆が損傷します。



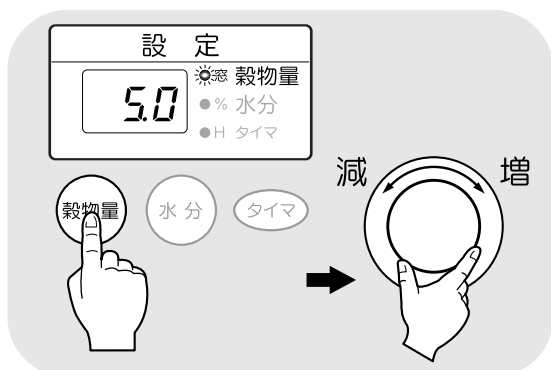
③ 運転選択を『連続』にします。

● 選択ボタンを押して『連続』にランプがつくようにします。



④ 乾燥選択を『標準』にセットします。

● 選択ボタンを押して、『標準』にランプがつくようにします。



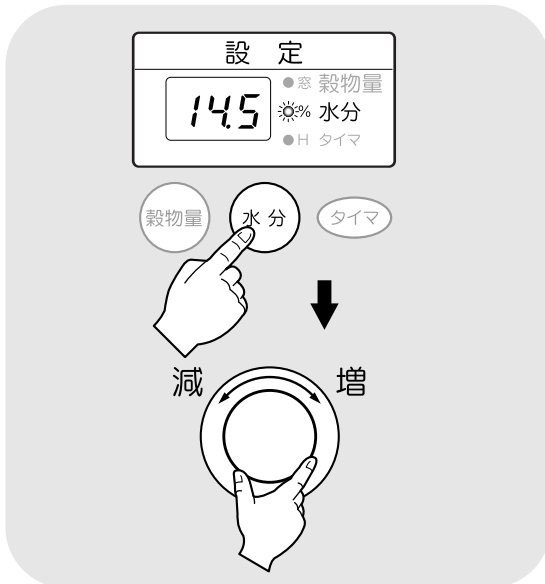
⑤ 設定つまみを回して設定表示を張込まれた『穀物量』(窓の数値)にセットします。

● 穀物量ボタンを押し、設定つまみを回して張込まれた窓の数字に合わせます。

● 乾燥ボタンを押した後に、穀物量を変更してもかまいません。

注意

- 容量表示窓②より少ない張込量で、乾燥運転しないでください。

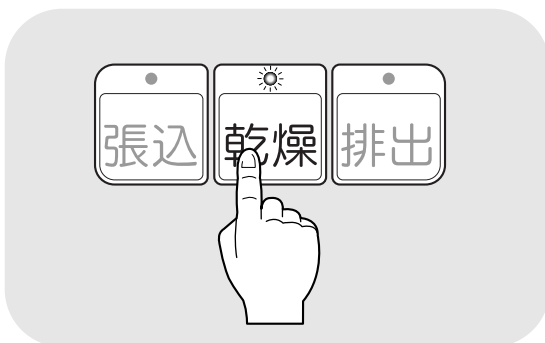


- ⑥ 設定つまみを回して、設定表示を目標の『水分値』にセットします。

- 水分ボタンを押し設定つまみを回して、目標の水分に合わせます。

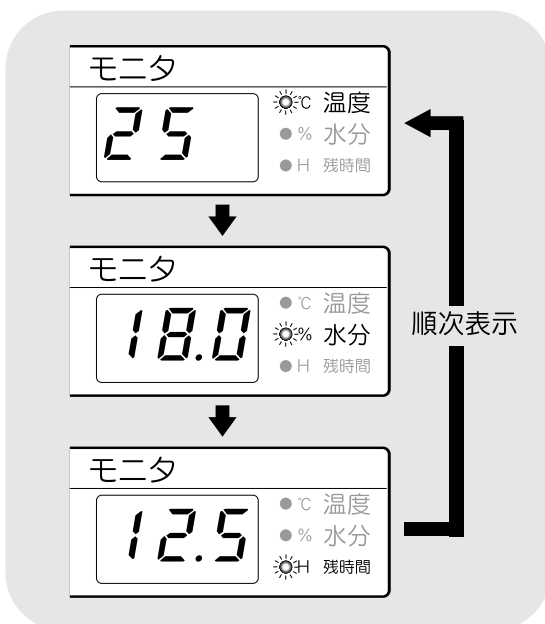
注意

- 設定水分つまみの目盛は、10.5%～17%の間は0.1%きざみです。表示を確認しながらセットしてください。



- ⑦ 『乾燥』ボタンを押します。

- 乾燥ランプが点灯します。
- バーナが点火し、乾燥が始まります。
- 自動水分計が水分測定を開始します。
- モニタは、最初に設定温度、次に水分値（ . ）、その次に残時間（ - . - ）を表示します。その後は熱風温度と水分値、残時間を順に表示します。



注意

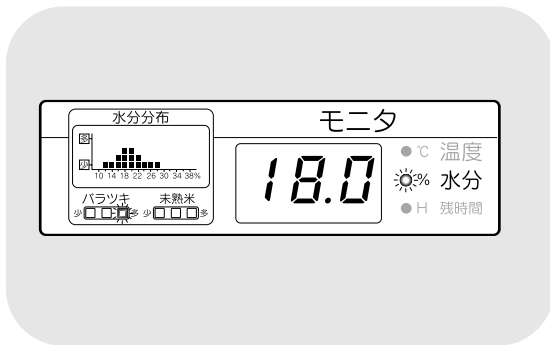
点火しなかった場合は、『停止』ボタンを押し、もう一度『乾燥』ボタンを押してください。

- バーナは設定温度に近づくと、消火、燃焼を繰返して、自動的に熱風温度を設定温度に保ちます。

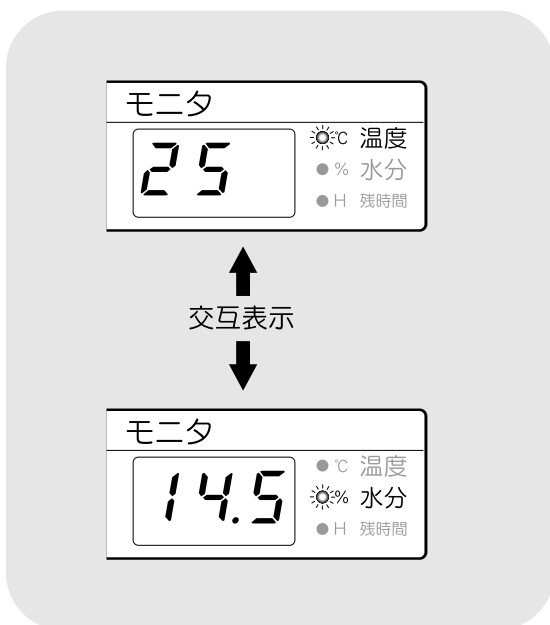
注意

初回の水分測定中は、水分の表示ができません。

4.機械の運転操作



- 25粒の水分測定が終了すると、平均水分値と、水分バラツキ、水分分布グラフを表示します。
水分測定中は水分計ボタンのランプが点滅します。
- その後、30分間隔で自動測定を繰り返します。

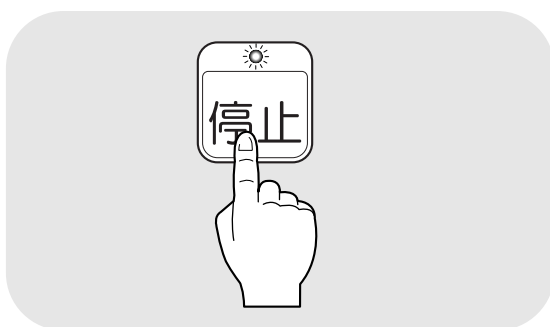


注意

- 運転中に穀物量の設定を変えると、20秒間新たな設定熱風温度を表示します。
- 設定水分を変えると、20秒間新たな設定水分値を表示します。
- 設定水分になると、自動停止し、乾燥ランプが点滅します。モニタは設定熱風温度と設定水分値を交互に表示します。

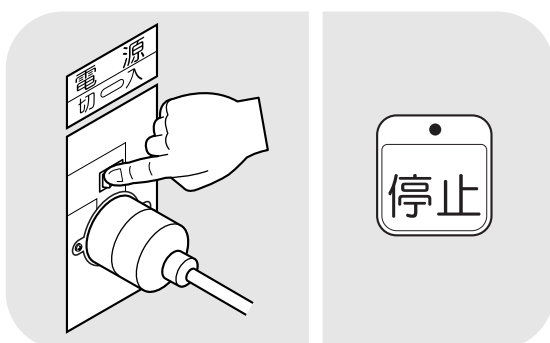
注意

水分表示が設定水分と同じことを確認してください。



⑧ 『停止』 ボタンを押します。

- 停止ランプが点灯します。
- 温度・水分の表示が消え、周囲温度を表示します。



⑨ 電源スイッチを『切』にします。

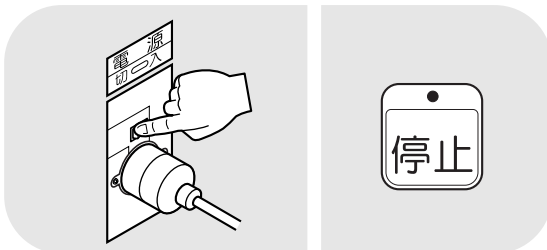
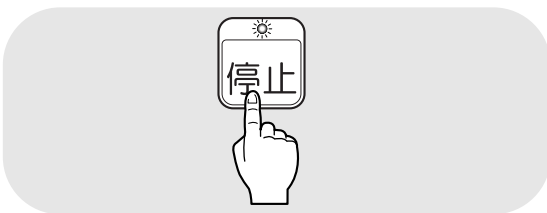
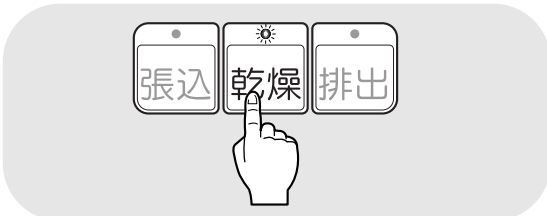
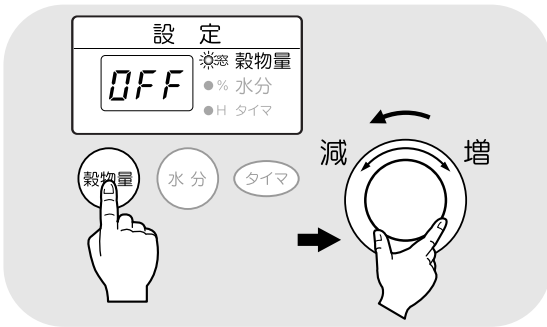
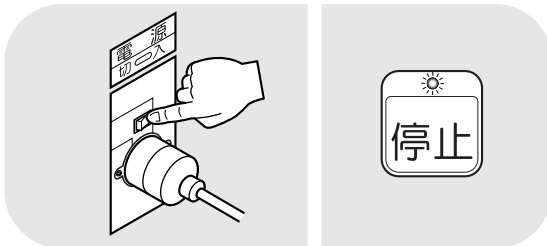
- 停止ランプとモニタ表示が消えます。

4.3.3.大豆の通風乾燥運転

通風乾燥運転の方法を次に示します。

注意

電源スイッチを入れたら、穀物選択が『大豆』、乾燥選択『標準』、運転選択が『連続』になっていることを確認してください。



- ① 電源スイッチを『入』にします。
 - 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。
- ② 設定つまみを回して穀物量表示を『OFF』にセットします。
 - 穀物量ボタンを押します。
 - 設定つまみを減側に回し、設定の数字を『OFF』にします。
- ③ 『乾燥』ボタンを押します。
 - 乾燥ランプが点灯します。
 - バーナは停止した状態で、乾燥運転が始まります。

注意

- 通風乾燥でも自動水分測定をします。大豆の水分が設定水分以下の場合、自動停止します。
- 運転中に設定つまみを回して穀物量をセットすると、バーナが点火し標準乾燥運転になります。

- ④ 停止は『停止』ボタンを押します。
 - 停止ランプが点灯します。
- ⑤ 電源スイッチを『切』にします。
 - 停止ランプとモニタ表示が消えます。

危険

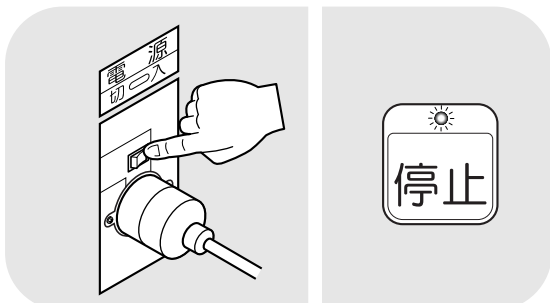
- 通風乾燥運転中に張込ホッパを開けて、張込み作業はしないでください。

4.機械の運転操作

4.3.4.大豆の二段乾燥運転

大豆の二段乾燥運転の方法を次に示します。

ただし、休止による水分移行効果は粉・麦ほどありません。



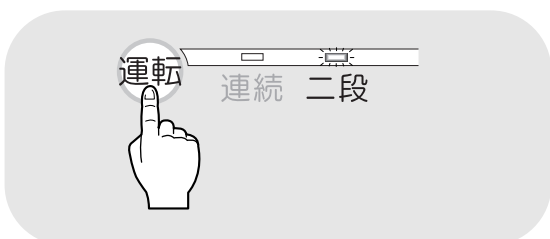
① 電源スイッチを『入』にします。

● 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。



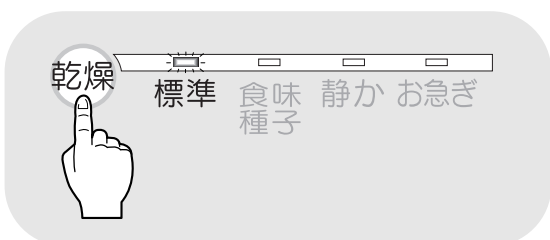
② 穀物選択を『大豆』にセットします。

● 選択ボタンを押し、『大豆』にランプがつくようにします。



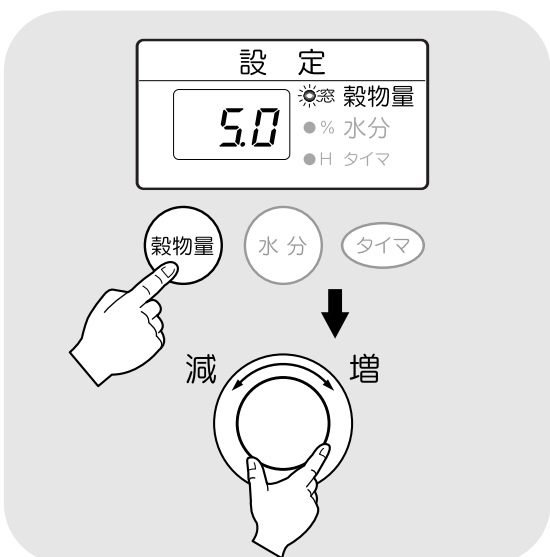
③ 運転選択を『二段』にセットします。

● 選択ボタンを押し、『二段』にランプがつくようにします。



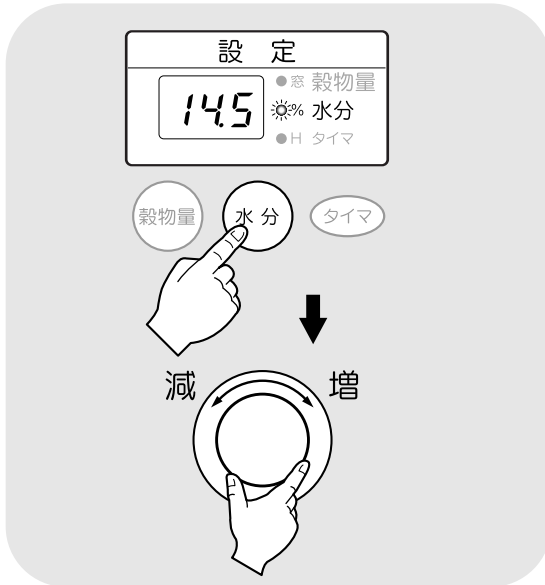
④ 乾燥選択を『標準』にセットします。

● 選択ボタンを押し、『標準』にランプがつくようにします。



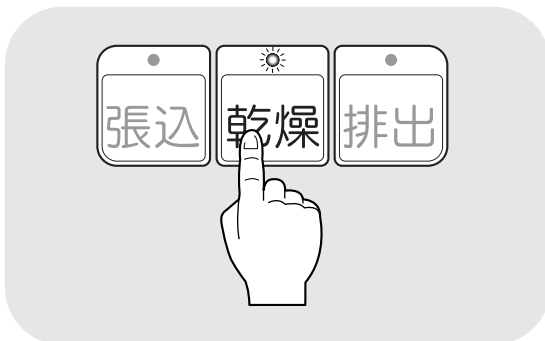
⑤ 設定表示を張込まれた『穀物量』(窓の数値)にセットします。

● 穀物量ボタンを押し、設定ツマミを回して穀物量に合わせます。



⑥ 設定表示を目標の『水分値』にセットします。

- 水分ボタンを押し、設定つまみを回して、目標の水分に合わせます。



⑦ 『乾燥』ボタンを押します。

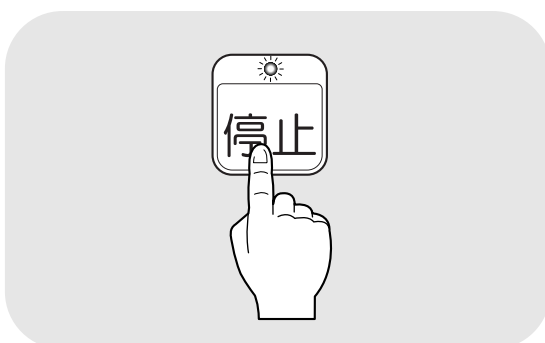
- 乾燥が始まります。

注意

- 二段乾燥を中止する場合は、運転選択を『連続』に変えてください。

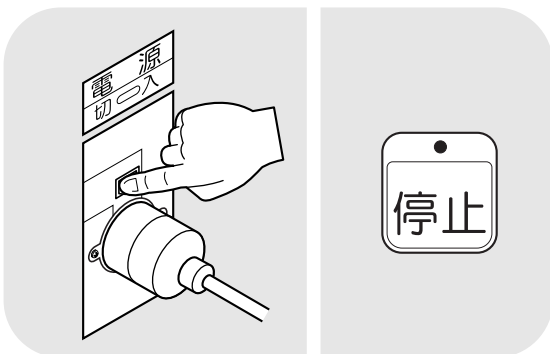
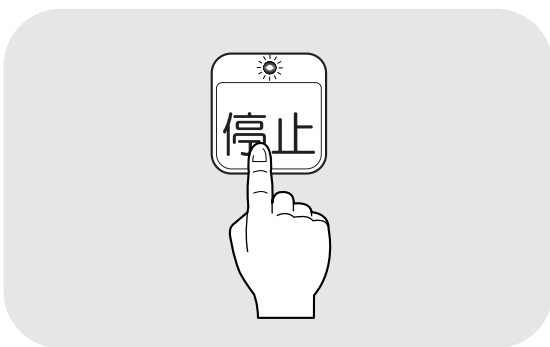
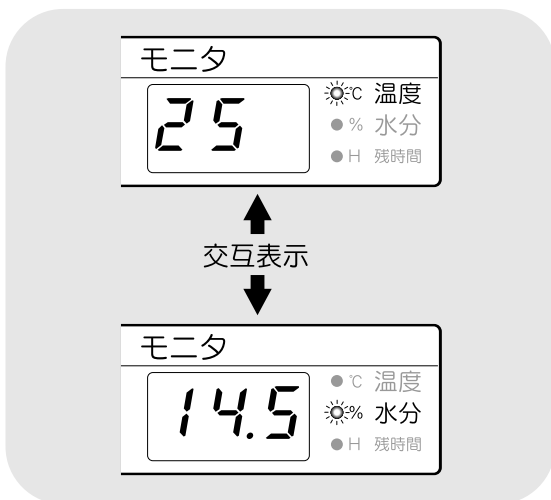
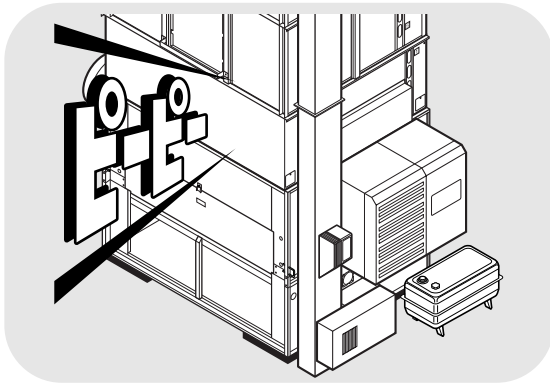


- 水分が18%になると自動停止し、『二段』ランプが点滅します。
- 休止中の時間表示は、次の乾燥運転開始までの時間です。
- 休止時間は、水分バラツキが『赤(多い)』の場合は10時間、その他は5時間です。
- 初回水分が18%以下の時も休止します。



- 休止を中断して、乾燥を始めたい場合は、『停止』ボタンを押してください。5秒間ブザーが鳴ってから乾燥運転が始まります。

4.機械の運転操作



- 休止時間が過ぎると、自動的に乾燥運転が始まります。

警告

- 二段乾燥休止中で機械が停止していても、カバーを開けて点検などをしてしないでください。
- 最初にブザーが5秒間鳴ってから、機械が動きます。
- 設定水分になると、自動停止し、乾燥ランプが点滅します。モニタは設定熱風温度と設定水分値を交互に表示します。

注意

水分表示が設定水分つまみの設定と同じことを確認してください。

- ⑧ 『停止』 ボタンを押します。

- 停止ランプが点灯します。
- 温度・水分の表示が消え、周囲温度を表示します。

- ⑨ 電源スイッチを『切』にします。

- 停止ランプとモニタ表示が消えます。

4.3.5. 大豆の食味乾燥運転

水分値や外気湿度に応じて下記のように設定熱風温度を制御します。

水分値	設定熱風温度（外気10℃、湿度40%の時）	
	SAC-E30D～E40D	SAC-E45D～E65D
初回測定中	通風乾燥	通風乾燥
21%以上	通風乾燥	通風乾燥
18%	通風乾燥～外気+8℃	通風乾燥～外気+6℃
15%	外気 +5℃～+14℃	外気 +5℃～+12℃

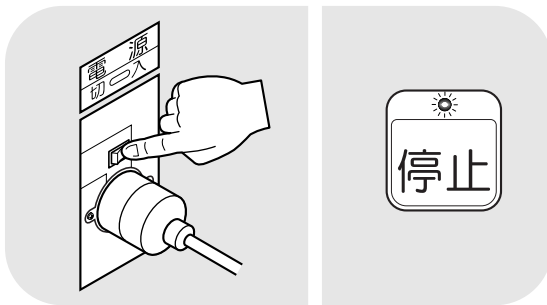
水分値	設定熱風温度（外気10℃、湿度60%の時）	
	SAC-E30D～E40D	SAC-E45D～E65D
初回測定中	通風乾燥	通風乾燥
21%以上	通風乾燥～外気+6℃	通風乾燥
18%	通風乾燥～外気+13℃	通風乾燥～外気+11℃
15%	外気 +11℃～+19℃	外気 +11℃～+17℃

水分値	設定熱風温度（外気10℃、湿度80%の時）	
	SAC-E30D～E40D	SAC-E45D～E65D
初回測定中	通風乾燥	通風乾燥
21%以上	通風乾燥～外気+11℃	通風乾燥～外気+9℃
18%	外気 +9℃～+18℃	外気 +9℃～+16℃
15%	外気 +16℃～+24℃	外気 +16℃～+22℃

注意

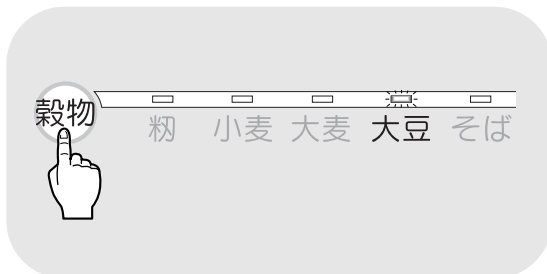
- 夜間に通風乾燥しても大豆は乾燥しません。
- 夜間は温度を下げて乾燥するか、送風だけの運転をしてください。

大豆の食味乾燥運転の方法を次に示します。



① 電源スイッチを『入』にします。

- 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。

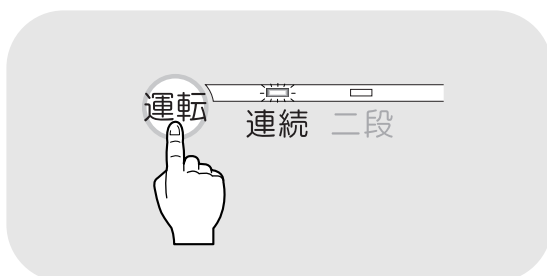


② 穀物選択を『大豆』にセットします。

- 選択ボタンを押して、『大豆』にランプがつくようにします。

注意

穀物選択は正しくセットしてください。『大豆』以外にセットすると、まちがった水分値を表示し、設定熱風温度や循環速度も違い大豆が損傷します。



③ 乾燥選択を『連続』にセットします。

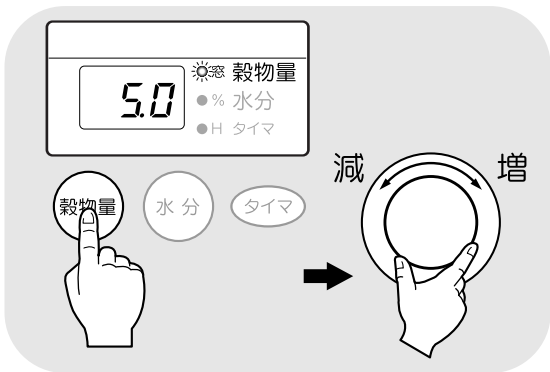
- 乾燥の選択ボタンを押し、『連続』にランプがつくようにします。

4.機械の運転操作



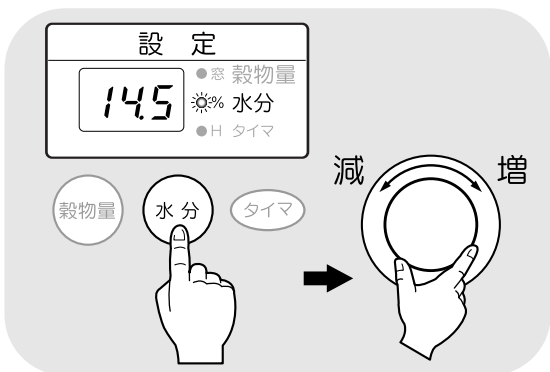
④ 乾燥選択を、『食味種子』にセットします。

● 選択ボタンを押し、『食味種子』にランプがつくようにします。



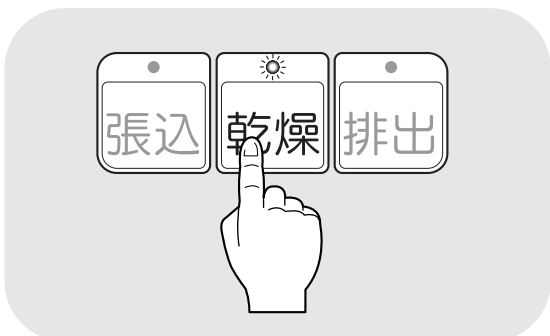
⑤ 設定表示を張込まれた『穀物量』(窓の数値)にセットします。

● 穀物量ボタンを押し、設定つまみを回して穀物量に合わせます。



⑥ 設定表示を目標の『水分値』にセットします。

● 水分ボタンを押し、設定つまみを回して、目標の水分に合わせます。



⑦ 『乾燥』ボタンを押します。

● 乾燥が始まります。

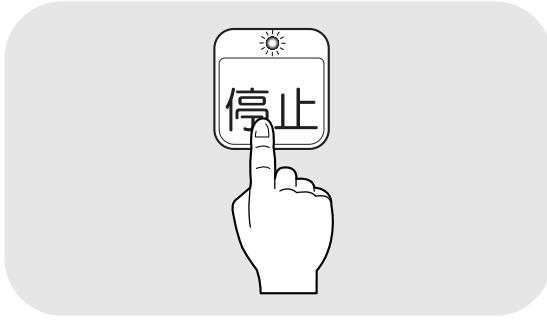
● 初回水分測定中は通風乾燥です。

● 設定水分になると、自動停止し、乾燥ランプが点滅します。モニタは設定熱風温度と設定水分値を交互に表示します。



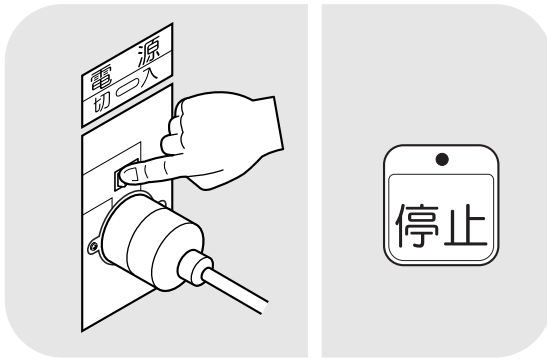
注意

- 初回水分測定時及び、水分が高い時(4-17表参照)は通風乾燥になります。
- 食味乾燥を中止する場合は、運転選択を『連続』に変えてください。
- 水分表示が設定水分つまみの設定と同じことを確認してください。



⑧ 『停止』 ボタンを押します。

- 停止ランプが点灯します。
- 温度・水分の表示が消え、周囲温度を表示します。



⑨ 電源スイッチを『切』にします。

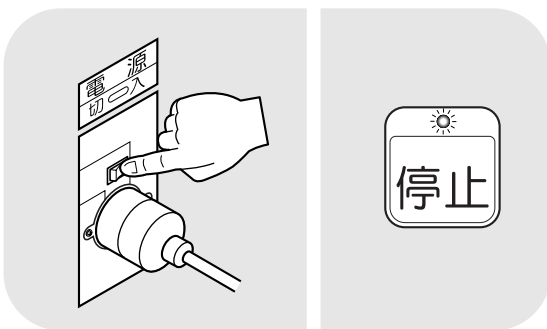
- 停止ランプとモニタ表示が消えます。

4.3.6. 大豆のタイマ乾燥運転

大豆のタイマ乾燥運転の方法を次に示します。

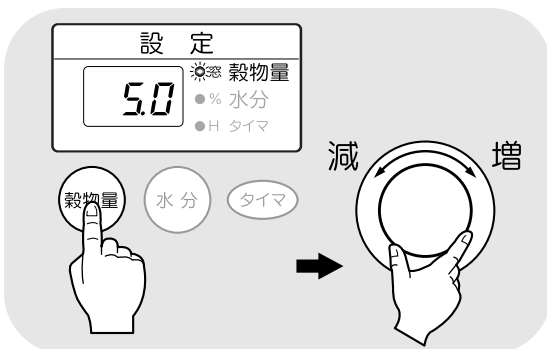
注意

電源スイッチを入れたら、穀物選択が『大豆』、乾燥選択が『標準』、運転選択が『連続』になっていることを確認してください。



① 電源スイッチを『入』にします。

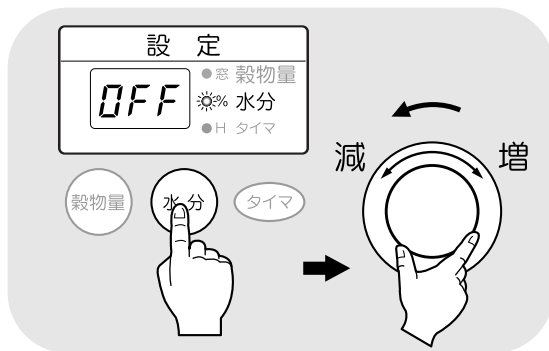
- 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。



② 設定表示を張込まれた『穀物量』(窓の数値)にセットします。

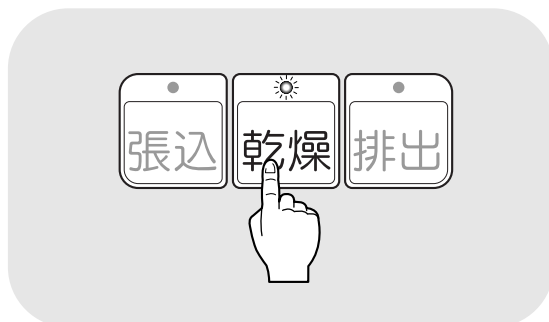
- 穀物量ボタンを押し、設定つまみを回して張込まれた窓の数字に合わせます。

4.機械の運転操作



③ 自動水分計の**設定水分**を『**OFF**』にします。

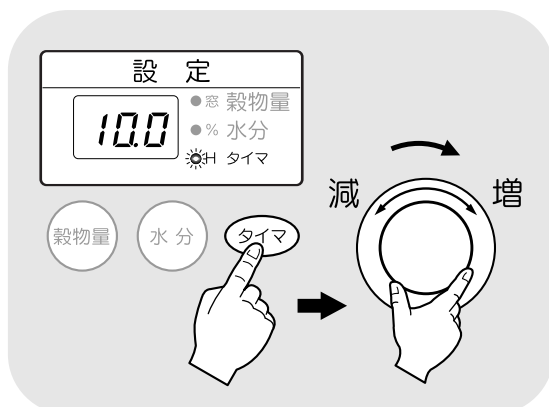
●水分ボタンを押し、設定つまみで水分を『**OFF**』にします。



④ 『乾燥』ボタンを押します。

●乾燥が始まります。

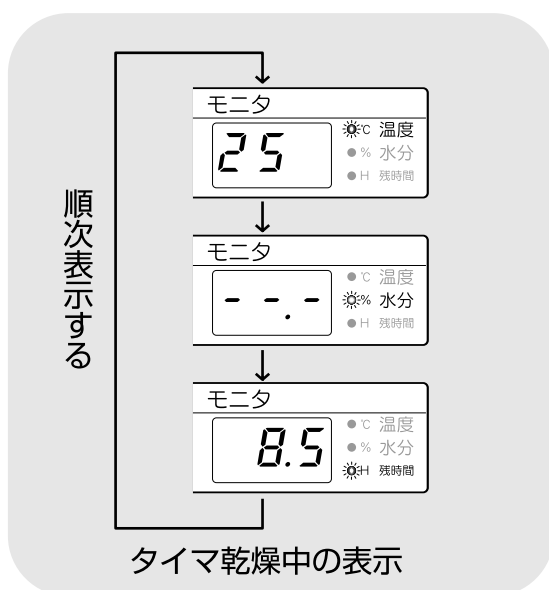
●乾燥ボタンを押す前に⑤のタイマを設定してもかまいません。



⑤ 乾燥時間を設定します。

●タイマボタンを押します。

●設定つまみを回し、希望する時間にセットします。3時間までは0.1時間(6分)単位、それ以上は0.5時間(30分)単位で、24時間まで設定できます。



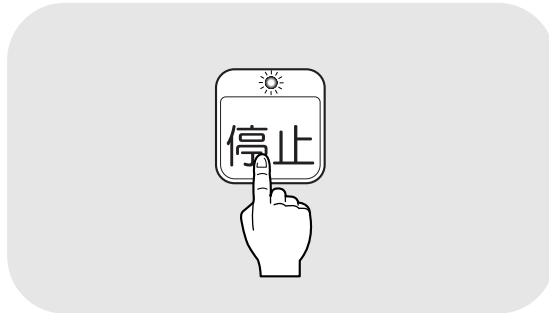
注意

- 乾燥途中で設定を変更する場合は、⑤の操作をしてください。
- 「**OFF**」にセットするとタイマ運転を中止します。
- 時間表示は0.1Hずつ減少します。



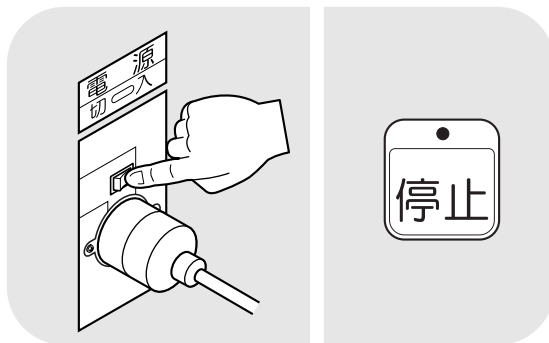
⑥ セットした時間が経過すると、機械が停止します。

●乾燥ランプは点灯したままで、モニタの交互表示の時間は『0.0』を表示します。



⑦ 停止ボタンを押します。

●停止ランプが点灯し、モニタは周囲温度を表示します。



⑧ 電源スイッチを『切』にします。

●停止ランプとモニタ表示が消えます。

注 意

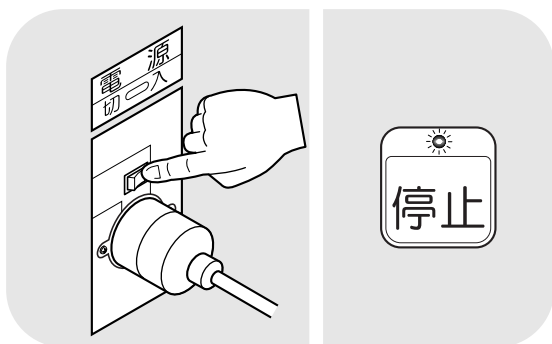
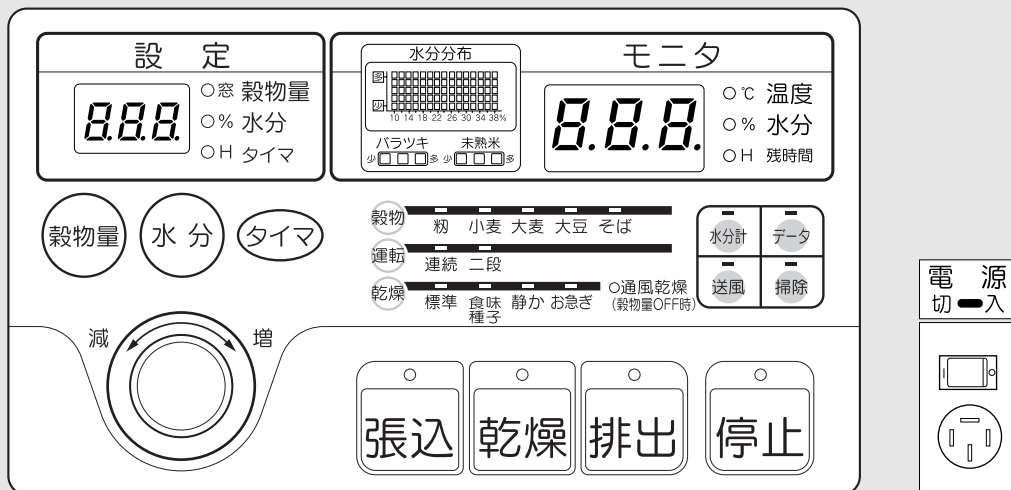
- 1時間当たり0.2%～0.4%水分が減少します。乾き過ぎないように時間をセットしてください。
- タイマと自動水分計を併用した場合は、どちらか早い方で機械が停止します。必ず表示を確認してください。
- タイマ停止した場合は、希望水分まで乾燥していないことがあります。必ず水分確認をしてください。

4.機械の運転操作

4.3.7.そばの乾燥運転

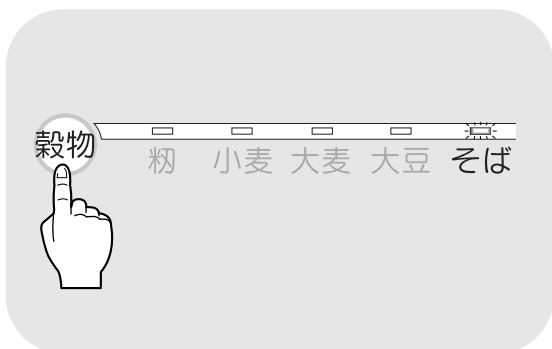
そばの乾燥運転の方法を次に示します。

操作パネル



① 電源スイッチを『入』にします。

- 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。



② 穀物選択を『そば』にセットします。

- 選択ボタンを押して、『そば』にランプがつくようにします。

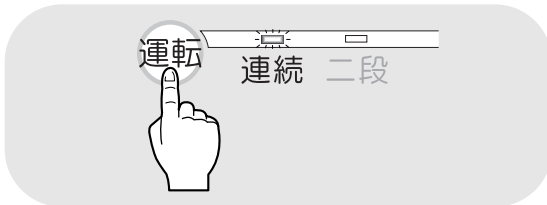
注意

穀物選択は正しくセットしてください。『そば』以外にセットすると、まちがった水分値を表示し、設定熱風温度や循環速度も違いそばが損傷します。



③ 乾燥選択を『標準』にセットします。

- 選択ボタンを押して、『標準』にランプがつくようにします。

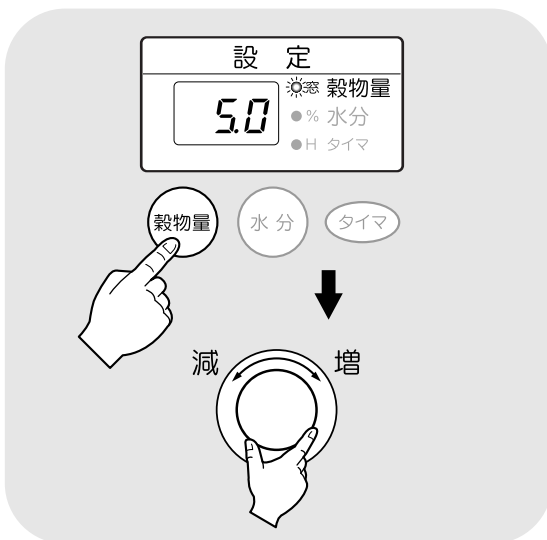


④ 運転選択を『連続』にセットします。



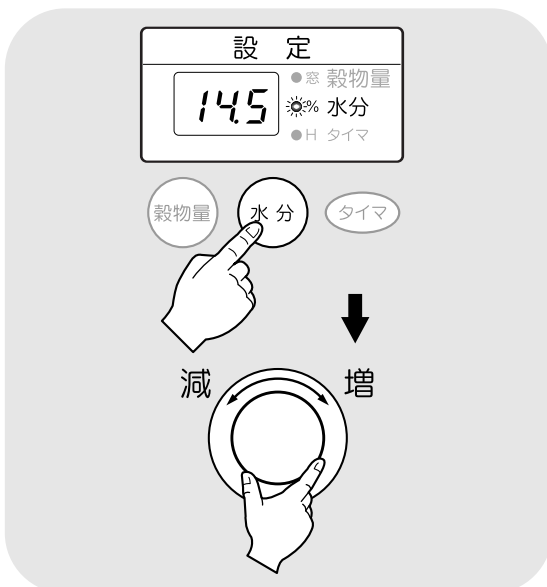
注意

● 容量表示窓②より少ない張込量で、乾燥運転しないでください。



⑤ 設定表示を、張込まれた『穀物量』(窓の数値)にセットします。

- 穀物量ボタンを押し、設定つまみを回して張込まれた窓の数字に合わせます。
- 乾燥ボタンを押した後に、穀物量を変更してもかまいません。



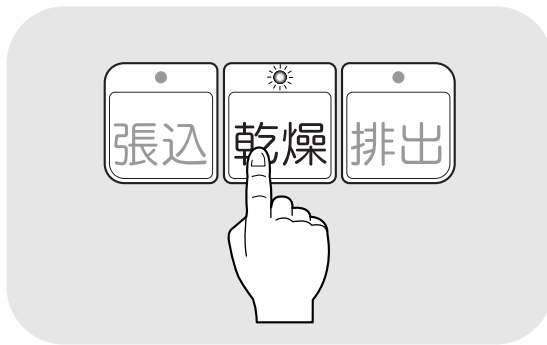
⑥ 設定表示を目標の『水分値』にセットします。

- 水分ボタンを押し設定つまみを回して、目標の水分に合わせます。

注意

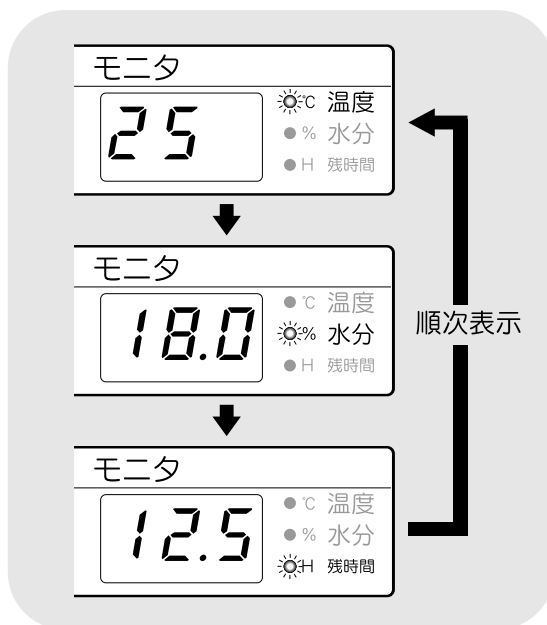
● 設定水分の表示は、10.5%～17%の間は0.1%きざみです。表示を確認しながらセットしてください。

4.機械の運転操作



⑦『乾燥』ボタンを押します。

- 乾燥ランプが点灯します。
- バーナが点火し、乾燥が始まります。
- 自動水分計が水分測定を開始します。
- モニタは、最初に設定温度、次に水分値（ . ）、その次に残時間（ - - . - ）を表示します。その後は熱風温度と水分値、残時間を順に表示します。



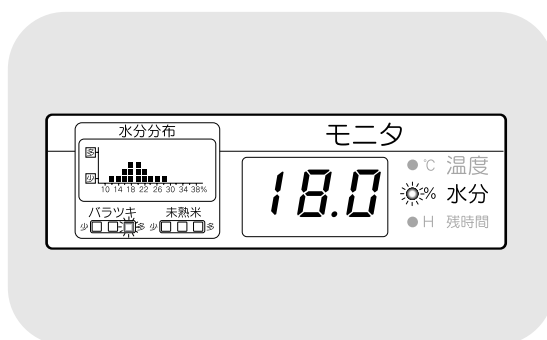
注 意

一度で点火しなかった場合は、『停止』ボタンを押し、もう一度『乾燥』ボタンを押してください。

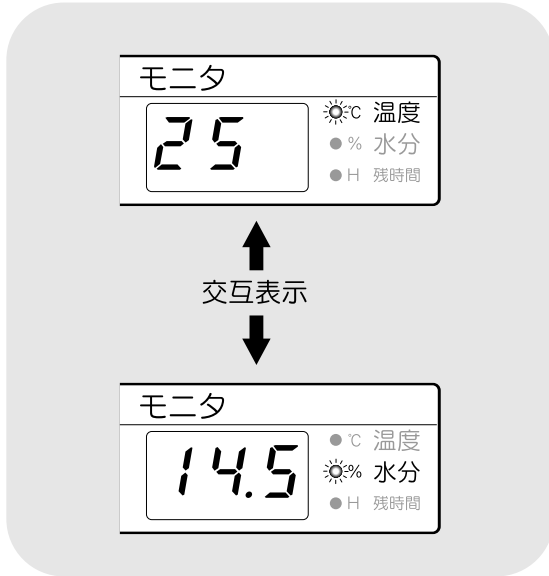
- バーナは設定温度に近づくと、消火、燃焼を繰返して、自動的に熱風温度を設定温度に保ちます。

注 意

初回の水分測定中は、水分の表示ができません。



- 200粒の水分測定が終了すると、平均水分値と、水分バラツキと、水分分布グラフを表示します。水分測定中は水分計ボタンのランプが点滅し、設定表示部に測定した粒数を表示します。
- その後、30分間隔で自動測定を繰返します。

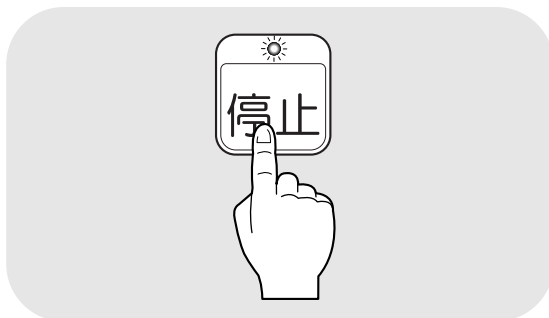


注意

- 運転中に穀物量の設定を変えると、20秒間新たな設定熱風温度を表示します。
- 設定水分を変えると、20秒間新たな設定水分値を表示します。
- 設定水分になると、自動停止し、乾燥ランプが点滅します。モニタは設定熱風温度と設定水分値を交互に表示します。

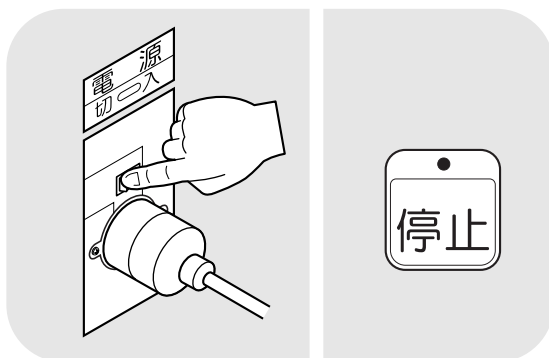
注意

水分表示が設定水分と同じことを確認してください。



⑧ 『停止』 ボタンを押します。

- 停止ランプが点灯します。
- 温度・水分の表示が消え、周囲温度を表示します。



⑨ 電源スイッチを『切』にします。

- 停止ランプとモニタ表示が消えます。

4.機械の運転操作

4.4.排出運転

大豆・そばを排出する場合は、次の運転操作を行ってください。

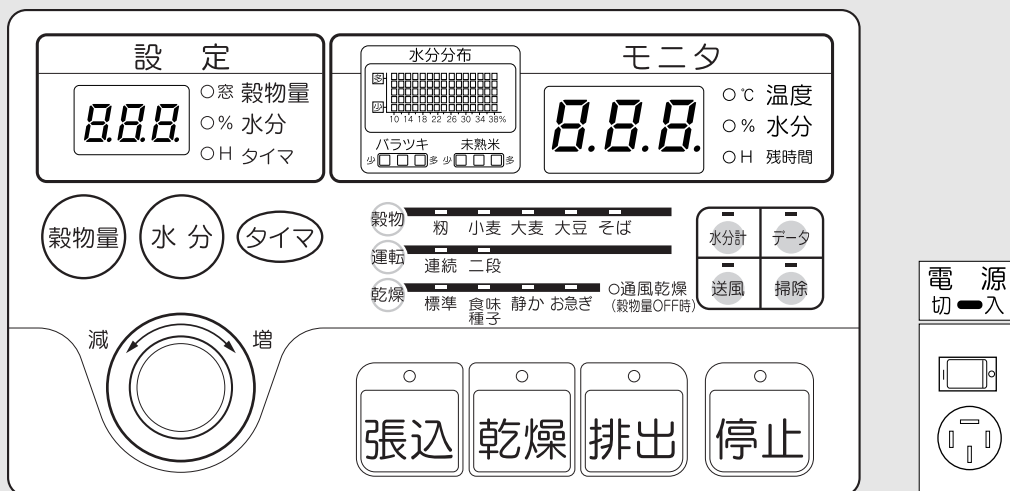


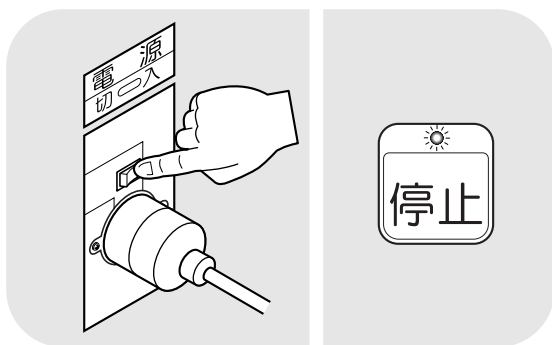
- ほこりの多い作業場ではマスクなど防塵用具を付けて作業してください。

注意

- 排出の前に手持ちの水分計で大豆・そばの水分を確認してください。
- 排出スロワ、搬送機を使用して排出しないでください。大豆が損傷します。
- 送風しながら排出したい場合は、事前に購入先に連絡してください。

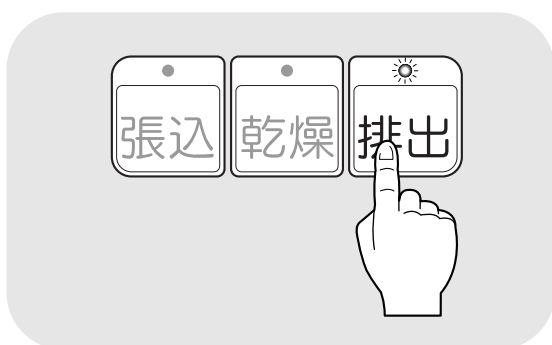
操作パネル





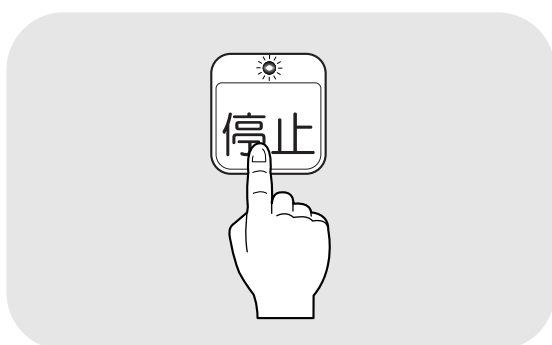
① 電源スイッチを『入』にします。

- 停止ランプが点灯し、モニタに周囲温度を表示します。



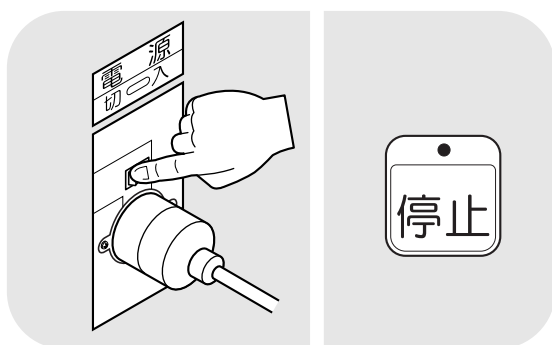
② 『排出』ボタンを押します。

- 排出ランプが点灯し、排出運転が始まります。



③ 排出後、『停止』ボタンを押します。

- 機械が停止し、停止ランプが点灯します。



④ 電源スイッチを『切』にします。

- 停止ランプとモニタ表示が消えます。

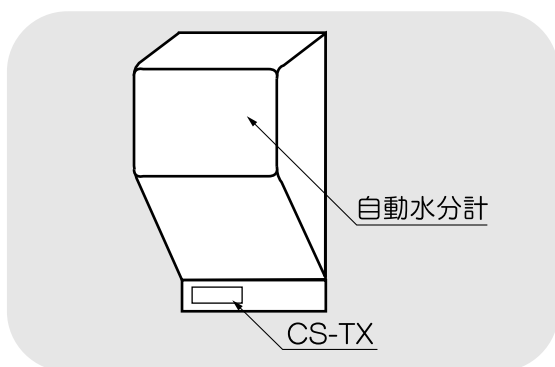
5 粉・麦用乾燥機への変更

この章では、粉・麦用乾燥機への変更について説明しています。

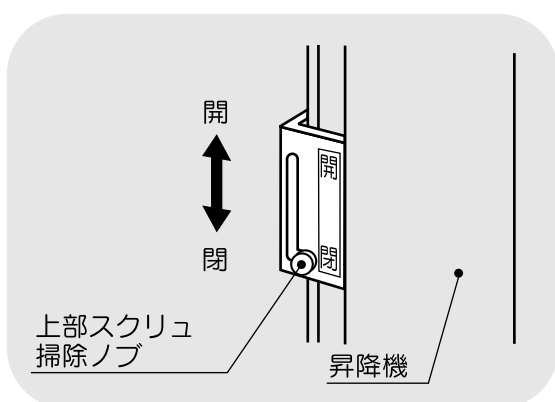
5.1.粉・麦用乾燥機への変更

5. 粉・麦用乾燥機への変更

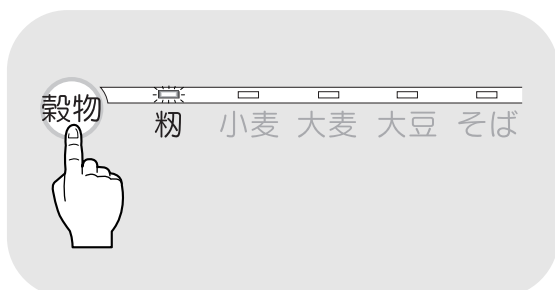
5.1. 粉・麦用乾燥機への変更



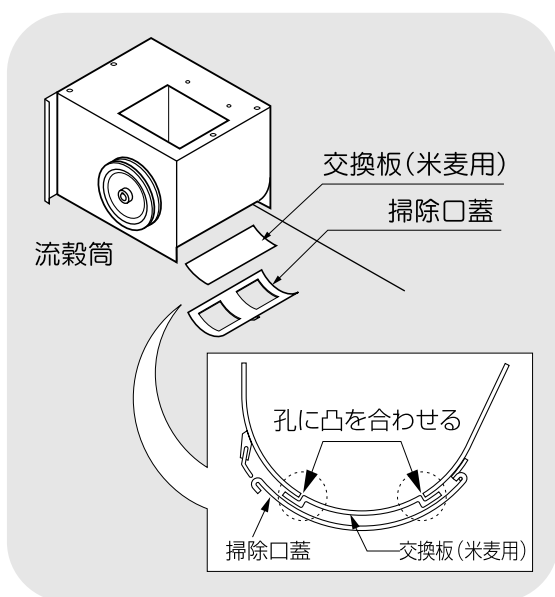
- ① 粉・麦専用の自動水分計に変更します。



- ② 上部スクリュ掃除口を『閉』に固定します。



- ③ 穀物選択を『粉』『小麦』『大麦』にセットします。



- ④ 流穀筒と掃除口蓋との間に、交換板（米麦用、孔無し）を、掃除口の孔と凸凹を合わせ、入れてください。

6 異常・故障の原因とその処置

この章では、機械に不具合が発生した場合の処置の方法について説明しています。

6.1.異常・故障の原因とその処置

6.異常・故障の原因とその処置



- 異常の処置をする場合は、必ず元電源のコネクタを抜いてください。
- バーナの点検は、高温の場合がありますので、5分以上通風乾燥してから行ってください。

6.1. 異常・故障の原因とその処置

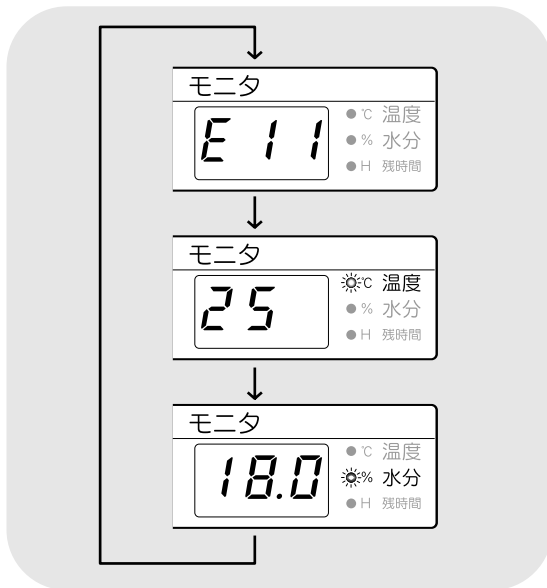
注 意

- 標準の乾燥機と違うところを説明しています。事前に標準の乾燥機の取扱説明書を読んでください。

異常コードを確認したら、停止ボタンを押してください。

異常コード	異常内容	点検箇所
E14	緊急停止スイッチ	ショートコネクタ
	欠相逆相検知	電源欠相、逆相
E17	回転検出センサ	搬送系のつまり
E35	水分計取込不良	取付、シュート
E45	湿度センサ	故障、コネクタ抜け
E70	インバータ通信異常（搬送モータ）	コネクタ抜け、コード不良
E71	電子サーマル作動（搬送モータ）	搬送モータ過負荷
E72	電子サーマル作動（搬送モータ）	搬送モータ過負荷
E73	出力短絡（搬送モータ）	搬送モータ
E74	低電圧（搬送モータ）	電源
E75	過電圧（搬送モータ）	電源
E76	インバータ過熱（搬送モータ）	搬送モータ

6.異常・故障の原因とその処置



- 異常コードは、乾燥運転中は異常コードと熱風温度、水分値を交互に表示します。
乾燥以外の場合は、異常コードのみ表示します。

●異常時の運転状態

異常コード	運転状態	ブザー	備考
E01～E19 E80～E86	全停止	鳴る	バーナとモータが同時に停止します。
E21～E35 E51～E55	燃料停止	鳴る	水分が17%未満の場合は5分後に全停止します。
E41～E43 E62、E45 E25	運転継続	鳴らない	乾燥中は安全な温度で乾燥を継続します。
E63、E64	全停止	鳴る	運転できない。

- 異常時の停止制御は、全停止、燃料停止、運転継続の3種類あります。



- 異常が発生して自動運転できない場合、次の手動操作で応急運転ができます。
- ①自動水分計の異常(E31～E35)の場合、水分の設定ボタンを押し、設定つまみで設定水分を「OFF」にすると再運転できます。
この場合、水分設定できませんが、熱風温度は自動コントロールして運転します。

6.異常・故障の原因とその処置

●E14：緊急停止スイッチ・欠相逆相検知

症 状	原 因	処 置
途中で停止する	緊急停止スイッチ	緊急停止スイッチを押した。
運転できない	電源の位相が逆	*購入先に依頼してください。
	電源の欠相	*購入先に依頼してください。
	搬送インバータのコードが抜けた	*購入先に依頼してください。

●E17：回転センサ

症 状	原 因	処 置
昇降機が動かない	張込み過ぎで大豆(そば)が詰まった	*購入先に依頼してください。
	インバータボックスコネクタ接触不良	*購入先に依頼してください。
	インバータが故障した	*購入先に依頼してください。
途中で停止する	ベルトがゆるんだ	ベルトの点検・交換をします。
	ベルトが切れた	標準の乾燥機の取説を読んでください。
	インバータボックスコネクタ接触不良	*購入先に依頼してください。
	センサの間隔不適	*購入先に依頼してください。
	穀物選択間違いで大豆(そば)が詰まった	コントロールボックスの穀物選択ボタンで「大豆(そば)」を選択してください。

●E35：自動水分計関係

症 状	原 因	処 置
水分表示しない	取込み不良	自動水分計内のシュートおよび点検窓の孔を掃除します。 昇降機シュートの掃除をします。
	穀物と水分計があっていないための取込み不良	大豆の場合は <u>CS-TXD</u> 粳、麦、そばの場合は <u>CS-TX</u> を使用してください。

●E45：湿度センサ

症 状	原 因	処 置
E45を表示する	湿度センサが故障した	*購入先に依頼してください。
	湿度センサのコードが抜けた	*購入先に依頼してください。
	湿度センサに埃が堆積した	*購入先に依頼してください。
	初回水分測定中、水分が高い	初回水分測定中や水分が高い場合は通風乾燥になります。

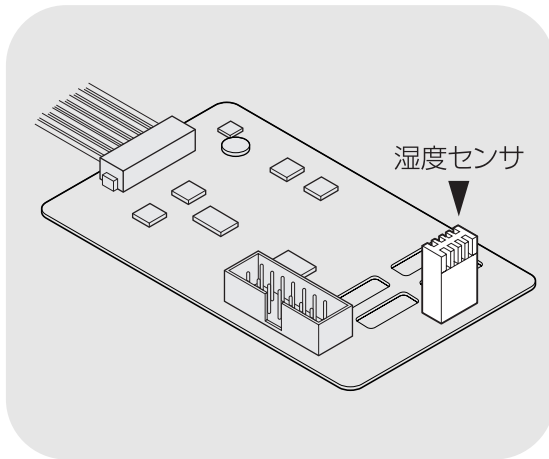
●E70～E76：搬送・インバータ関係

異常コード	症 状	原 因	処 置
E70	運転できない	コネクタ抜け コード不良	*購入先に依頼してください。 90秒間は操作できません。
E71 E72 E73	搬送モータが 回らない 昇降機が動かない	張込み過ぎで大豆 (そば)が詰まった ベアリングの焼付き	*購入先に依頼してください。
	モータがうなる 途中で停止する	電源電圧異常 (欠相、電圧が低い) コネクタ接続不良	*購入先に依頼してください。
E74	運転途中で停止 する	電源電圧が低い	*購入先に依頼してください。
E75	運転途中で停止 する	電源電圧が低い	*購入先に依頼してください。
E76	運転途中で停止 する	ほこりがたまり、イン バータ基板の放熱が できない	*購入先に依頼してください。

7 保守部品表

この章では、主な保守部品について説明しています。

7.保守部品表



湿度センサ

湿度センサは時間の経過と共に劣化します。3年毎の精度確認が必要です。精度確認は、必ず購入先に依頼してください。

湿度センサの精度は、使用環境、条件で異なる場合があります。

●湿度センサ以外は、米麦用乾燥機の保守部品表の項目を参照してください。

8 各部の調整方法

9 オプション部品

10 用語説明

粉・麦用循環型乾燥機の取扱説明書に説明があります。

11 連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記のところへ連絡してください。

静岡製機株式会社

営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	☎袋井(0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890
北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	☎古川(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	☎取手(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1	☎袋井(0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	☎金沢(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12	☎岡山(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	☎久留米(0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373

◎ 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	☎袋井	(0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890
北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌	(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	☎古川	(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟	(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	☎取手	(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1	☎袋井	(0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	☎金沢	(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪	(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12	☎岡山	(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	☎久留米	(0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、
ご要望は下記までご連絡ください。

『静岡製機株式会社 お客様提案窓口』

フリーダイヤル ☎ 0120-702-118 (携帯電話、PHSは不可)

一般電話 0538-23-3305

F A X 0538-23-4997

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

00141-247006C
G1002